

合	計	被雇	雇入	何人	雇止	何人	全
		何人	何人	何人	何人	何人	全

●訓 第八八 號 明治二十五年七月二十一日 郡市長

凡ッ登簿噸數一百噸以上ノ内外國航船ヲ新造若クハ外國ヨリ買入タルモノアルトキハ海上運輸ニ係ル調査上必要ノ諸件ニ關シ海軍參謀部ニ於テ該船舶ニ臨檢シ調査ヲ遂クヘキニ付其旨豫テ該船所有者ヘ達シ置クヘシ

但既ニ該調査ヲ了リタル船舶ト雖モ爾後其構造ヲ變更シタル等ノ場合ニ於テハ更ニ臨檢調査ス右訓令ス

●訓令第三百三十七號 明治二十五年十二月二十九日 沿海( ) 警察署 警察分署

浦役場

自今其所轄内ニ於テ登簿船免狀ヲ受有スル船舶衝突若クハ難破ニ係ルモノアル時ハ例規ニ據ル難破報告ノ外遭難ノ當時直ニ其船名船長氏名及ビ死傷者ノ有無トモ電報又ハ其他ノ方法ヲ以テ遞信省管船局ヘ急報ス可シ

●訓 第六十六 號 明治二十四年六月二十三日 郡市長

今般北米合衆國ニ於テ外國人移住條例二十四年六月十六日官報ニ掲載セリ制定有之其條項ニ據レハ白痴瘋癲及貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受クルノ虞アル者嫌惡スヘキ疾病又ハ危險ナル傳染病者重罪又ハ破廉耻罪

ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ始メ直接又ハ間接ニ契約ヲ結ビ一定ノ給料又ハ就役ノ場所ヲ定メ又ハ其像約ヲ爲シ或ハ書面口頭ノ勧誘ニ依リ渡米シタル者ハ契約移住者ニ該當スヘキモノト認メ孰レモ上陸ヲ禁止スル趣ニ有之候就テハ今後其所轄内ニ於テ北米渡航ノ爲メ證明書下附願出ノモノニ對シテハ本人ノ身元目的等嚴密ニ取糺ノ上右移住條例ニ牴觸ノ有無詳細申テ爲シ進達有之度尤現行海外旅券規則ノ儀ハ渡航ヲ禁止スルノ制ニハ無之候得共後來本人ノ不幸ニ關スル場合ニハ充分ニ注意ヲ加ヘ以テ事ノ未然ニ保護候様致度趣意ニ有之候條其意ヲ以テ取調ラルヘシ

右内訓ス

●告 諭 第一 號 明治二十五年六月二十四日

北米合衆國ニ於テハ千八百八十五年二月二十六日外國人契約勞働者移住禁止條例ヲ發布シ右ニ違犯ノ徒ハ何國人ニ拘ハラス上陸拒絶ノ制規ニ候處昨年三月十三日ニ至リ該條例ノ追加條例ヲ制定シ契約勞働者ノ移住禁止ヲ一層嚴重ニ實施及ヒタルニ付萬一同國ヘ渡航スル輩ニシテ該條例ニ牴觸シ上陸拒絶ノ不幸ニ罹リテハ不相成候然ルニ和歌山、廣嶋、熊本、山口其他ノ各縣下ヨリ渡米スル者陸續相踵キ遂ニ本年四月十三日横濱發ノ英國汽船「ベルツ」號ニ乘込タル渡米者ノ中桑港到若ノ上検査ニ由リ條例違犯ノ廉ヲ以テ上陸ヲ拒絶セラレ空シク歸國シタル者二十六名モ有之且ツ近頃本邦人渡航者ノ數ハ一个月間ニ五百餘名ノ多キニ達シ爲メニ桑港ノ各新聞紙ハ甚ク過激



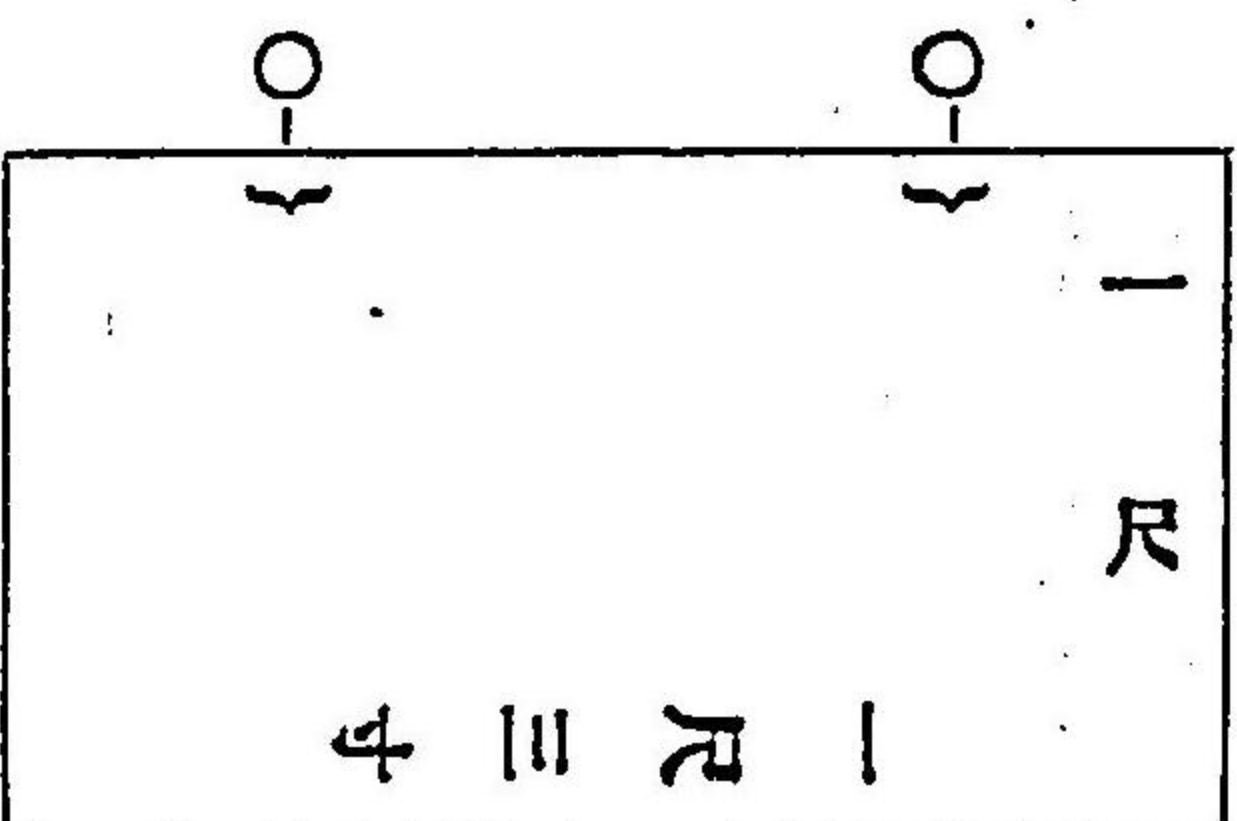
ナル論説ヲ唱フルニ至リ其筋ニテハ猶ホ一層嚴重ナル検査ヲ施行シテ違犯者ヲ送還セントスル狀况有之右ハ畢竟スルニ渡米者カ未ダ善ク該條例ノ何物タルヲ知ラサルニ基因スルモノニシテ其弊ヤ單ニ自身カ上陸ヲ拒マル、ノ不幸ニ陥リ莫大ノ旅費ヲ失ヒ進退ニ窮スル而已ナラヌ終ニハ之カ爲メ帝國ノ名譽ヲモ毀傷セラル、ニ至ルノ虞ナシトモ云ヒ難ク就テハ渡米志望者ハ千八百八十五年制定ノ條例(昨年六月二十九日官報)及ヒ昨年制定ノ追加條例(昨年六月十六日官報)全文ノ主意條項ヲ普ク熟知スルヲ要ス尙ホ其要項ヲ舉クレハ白痴瘋癲及貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受クルノ虞アル者嫌惡スヘキ疾病又ハ危險ナル傳染病者重罪又ハ破廉耻罪ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ始メ直接又ハ間接ニ契約ヲ結ヒ一定ノ給料又ハ就役ノ場所ヲ定メ又ハ其豫約ヲ爲シ或ハ書面口頭ノ勸誘ニ依リ渡米シタル者ハ契約移住者ニ該當スヘキ者ト認定シテ上陸ヲ禁セラル、コト等ニ有之候條漢然渡航ヲ企テ一身ノ不幸ハ勿論我國體ニモ關係ヲ來タヌカ如キ不都合ヲ生セサル様留意致スヘシ

●氣象

●訓令第九十七號 明治二十五年十月七日

警察 署 石動警察署  
ヲ除ク

爾後風雨等ニ關スル警報ハ警察署前ニ揭示スルト同時ニ各交番所前ニモ揭示スヘシ  
但シ揭示板ハ交番所ノ數ニ應シ左ノ仕様ニ依リ其署ニ於テ新調スヘシ



杉六分板ヲ以テ製シ上部ニ  
二箇ノ鐵ヲ付ス



●第六類

●道路橋梁

●縣令第二十九號 明治二十四年五月五日

人民私費ヲ以テ開設シタル橋梁渡津及道路等電報配達人ヨリ貸錢請求不相成候處自今左ノ離形ノ印鑑携帶ノ者モ同様貸錢請求相成ラス

(印鑑離形)

二寸五歩

曲尺二寸

第 號

何 國

何 地 電 信 取 扱 所 配 達 人

何 ノ 誰

○ 明治 年 月 日

何 地 何 國 電 信 取 扱 所

●縣令第十號 明治二十五年一月二十二日

明治二十三年三月縣令第十九號土木費及土木補助費區別左ノ通加除更正シ來二十五年ヨリ實施ス

第一條 堤防ノ項黒部川ノ次へ左ノ三川ヲ追加ス

早月川 神通川 小矢部川

第二條 里道ノ項左ノ通り訂正ス

- 第一號 宮崎村大字泊町ヨリ同村大字笹川村ニ至ル
- 第二號 泊町大字泊町ヨリ同町大字大屋村ニ至ル
- 第三號 泊町大字平柳町ヨリ大家庄村大字金山村ニ至ル
- 第四號 五箇庄村大字ニツ村ヨリ同村大字西草野村ニ至ル
- 第五號 入善町大字入膳村ヨリ山崎村大字山崎村ニ至ル
- 第六號 桐山村大字小杉新村ヨリ横山村大字横山村ニ至ル
- 第七號 入善町大字入膳村ヨリ舟見町大字舟見村ニ至ル
- 第八號 大家庄村大字大家庄村ヨリ飯野村大字上飯野村ニ至ル
- 第九號 大家庄村大字横水村ヨリ若栗村大字若栗村ニ至ル
- 第十號 愛本村大字愛本新村ヨリ飯野村大字芦崎村ニ至ル
- 第十一號 入善町大字入膳村ヨリ生地町大字經生地新村ニ至ル
- 第十二號 生地町大字經生地新村ヨリ大布施村大字香掛村ニ至ル
- 第十三號 生地町大字生地町ヨリ三日市町大字三日市村ニ至ル
- 第十四號 大布施村大字中新村ヨリ若栗村大字若栗村ニ至ル



- 第十五號 田家村大字田家新村ヨリ若栗村大字若栗村ニ至ル
- 第十六號 三日市町大字三日市村ヨリ石田村大字石田村ニ至ル
- 第十七號 石田村大字石田新村ヨリ東布施村大字笠破村ニ至ル
- 第十八號 魚津町大字魚津神明町ヨリ生地町大字經生地新村ニ至ル
- 第十九號 經田村大字濱經田村ヨリ西布施村大字大澤村ニ至ル
- 第二十號 加積村大字上村木村ヨリ片貝谷村大字平澤村ニ至ル
- 第二十一號 魚津町大字魚津金屋町ヨリ上野方村大字石垣新村ニ至ル
- 第二十二號 魚津町大字魚津新鹽屋町ヨリ松倉村大字鹿熊村ニ至ル
- 第二十三號 早月加積村大字三ヶ村ヨリ上市町大字上市村ニ至ル
- 第二十四號 滑川町大字滑川町ヨリ東加積村大字裝輪村ニ至ル
- 第二十五號 北加積村大字宮窪村ヨリ東加積村大字大日村ニ至ル
- 第二十六號 滑川町大字滑川町ヨリ山加積村大字黒河村ニ至ル
- 第二十七號 滑川町大字滑川町ヨリ上市町大字上市村ニ至ル
- 第二十八號 滑川町大字滑川町ヨリ早月加積村大字栗山村ニ至ル
- 第二十九號 西加積村大字菰原村ヨリ弓庄村大字辻村ニ至ル

- 第二十號 東水橋町大字東水橋町ヨリ宮川村大字石佛村ニ至ル
- 第三十一號 上市町大字上市村ヨリ白萩村大字伊折村ニ至ル
- 第三十二號 上市町大字上市村ヨリ大岩村大字荻荷谷村ニ至ル
- 第三十三號 弓庄村大字泉村ヨリ柿澤村大字柿澤村ニ至ル
- 第三十四號 音杉村大字稗田村ヨリ上瀧町大字上瀧村ニ至ル
- 第三十五號 上市町大字上市村ヨリ五百石町大字松本開ニ至ル
- 第三十六號 新庄町大字町新庄村ヨリ上市町大字上市村ニ至ル
- 第三十七號 五百石町大字松本開ヨリ大岩村大字荻荷谷村ニ至ル
- 第三十八號 五百石町大字松本開ヨリ上瀧町大字上瀧村ニ至ル
- 第三十九號 下條村大字柳寺村ヨリ五百石町大字松本開ニ至ル
- 第四十號 五百石町大字松本開ヨリ布倉村大字芦峰寺村ニ至ル
- 第四十一號 上條村大字北馬場村ヨリ布倉村大字横江村ニ至ル
- 第四十二號 富山市大字富山村木町ヨリ五百石町大字松本開ニ至ル
- 第四十三號 新庄町大字町新庄村ヨリ五百石町大字松本開ニ至ル
- 第四十四號 新庄町大字町新庄村ヨリ大廣田村大字千原崎村ニ至ル



- 第四十五號 新庄町大字田綾村ヨリ濱黒崎村大字濱黒崎村ニ至ル
- 第四十六號 新庄町大字荒川村ヨリ上瀧町大字上瀧村ニ至ル
- 第四十七號 東岩瀬町大字西ノ宮村ヨリ上條村大字北馬場村ニ至ル
- 第四十八號 西水橋町大字西水橋町ヨリ氷見町大字氷見上伊勢町ニ至ル
- 第四十九號 奥田村大字西稻荷村ヨリ大廣田村大字大村ニ至ル
- 第五十號 富山市大字清水村ヨリ上段村大字長倉村ニ至ル
- 第五十一號 富山市大字富山西町ヨリ上瀧町大字上瀧村ニ至ル
- 第五十二號 堀川村大字小泉村ヨリ太田村大字西邊村ニ至ル
- 第五十三號 山室村大字山室町村ヨリ月岡村大字開發村ニ至ル
- 第五十四號 ト瀧町大字上瀧村ヨリ大山村大字龜谷村ニ至ル
- 第五十五號 上瀧町大字上瀧村ヨリ大久保村大字下大久保村ニ至ル
- 第五十六號 大庄村大字東荒屋村ヨリ熊野村大字安養寺村ニ至ル
- 第五十七號 堀川村大字小泉村ヨリ福澤村大字東福澤村ニ至ル
- 第五十八號 福澤村大字東福澤村ヨリ下夕村大字太田薄波村ニ至ル
- 第五十九號 堀川村大字大町村ヨリ船嶺村大字二松村ニ至ル

- 第六十號 堀川村大字布市村ヨリ熊野村大字林崎村ニ至ル
- 第六十一號 大久保村大字上大久保村ヨリ船崎村大字二松村ニ至ル
- 第六十二號 大山村大字東文珠寺村ヨリ大澤野村大字笹津村ニ至ル
- 第六十三號 大澤野村大字笹津村ヨリ下夕村大字猪谷村ニ至ル
- 第六十四號 大久保村大字下大久保村ヨリ杉原村大字黒田村ニ至ル
- 第六十五號 五百石町大字松本開ヨリ千里村大字小倉村ニ至ル
- 第六十六號 堀川村大字布瀨村ヨリ大久保村大字下大久保村ニ至ル
- 第六十七號 富山市大字富山平吹町ヨリ八尾町大字八尾東町ニ至ル
- 第六十八號 富山市大字富山舟橋新町ヨリ四方町大字西岩瀬町ニ至ル
- 第六十九號 東岩瀬町大字東岩瀬町ヨリ小杉町大字大手崎村ニ至ル
- 第七十號 百塚村大字宮尾村ヨリ海老江村大字練合村ニ至ル
- 第七十一號 東吳羽村大字五福村ヨリ音川村大字下瀬村ニ至ル
- 第七十二號 速星村大字袋村ヨリ千里村大字高日附村ニ至ル
- 第七十三號 富山市大字富山舟橋今町ヨリ杉原村大字井山村ニ至ル
- 第七十四號 熊野村大字萩鳴村ヨリ杉原村大字井栗谷村ニ至ル



- 第七十五號 杉原村大字杉田村ヨリ宮川村大字余川村ニ至ル
- 第七十六號 杉原村大字井田村ヨリ細入村大字笹津村ニ至ル
- 第七十七號 八尾町大字八尾東町ヨリ大長谷村大字切詰村ニテ飛驒國界ニ至ル
- 第七十八號 杉原村大字井田新村ヨリ卯花村大字桐谷村ニ至ル
- 第七十九號 野積谷村大字八十嶋村ヨリ同村大字布谷村ニ至ル
- 第八十號 大長谷村大字折折村ヨリ同村大字嶋地村ニ至ル
- 第八十一號 八尾町大字八尾西新町ヨリ利賀村大字北大豆谷村ニ至ル
- 第八十二號 千里村大字小倉村ヨリ出町大字太郎九村ニ至ル
- 第八十三號 音川村大字下瀬村ヨリ山田村大字湯村ニ至ル
- 第八十四號 速星村大字笹倉村ヨリ古里村大字羽根村ニ至ル
- 第八十五號 小杉町大字戸破村ヨリ八尾町大字八尾下新町ニ至ル
- 第八十六號 西吳羽村大字追分茶屋村ヨリ橋下條村大字橋下條村ニ至ル
- 第八十七號 池多村大字北押川村ヨリ打出本江村大字打出本江村ニ至ル
- 第八十八號 西吳羽村大字中茶屋村ヨリ海老江村大字海老江村ニ至ル
- 第八十九號 池多村大字西押川村ヨリ速星村大字笹倉村ニ至ル

- 第九十號 櫻谷村大字石坂村ヨリ八幡村大字利波新村ニ至ル
- 第九十一號 寒江村大字野村ヨリ作道村大字作道村ニ至ル
- 第九十二號 古里村大字羽根村ヨリ梅檀野村大字宮森新村ニ至ル
- 第九十三號 堀岡村大字堀岡新村ヨリ小杉町大字戸破村ニ至ル
- 第九十四號 小杉町大字小杉三ヶ村ヨリ新湊町大字新湊放生津町ニ至ル
- 第九十五號 新湊町大字中伏木村ヨリ牧野村大字金屋村ニ至ル
- 第九十六號 新湊町大字新湊三ヶ新村ヨリ掛開發村大字荻布村ニ至ル
- 第九十七號 塚原村大字川口村ヨリ伏木町大字伏木新嶋村ニ至ル
- 第九十八號 新湊町大字新湊放生津町中橋ヨリ大門町大字大門村ニ至ル
- 第九十九號 大門町大字大内村ヨリ作道村大字作道村ニ至ル
- 第一百號 橋下條村大字橋下條村ヨリ金山村大字浄土寺村ニ至ル
- 第一百一號 大門町大字大門新町ヨリ水戸田村大字生源寺新村ニ至ル
- 第一百二號 高岡市大字高岡定塚町ヨリ水戸田村大字生源寺新村ニ至ル
- 第一百三號 淺井村大字下條村ヨリ櫛田村大字串田新村ニ至ル
- 第一百四號 大門町大字大門村ヨリ雄神村大字三谷村ニ至ル



- 第一百五號 小杉町大字小杉三ヶ村ヨリ戸出町大字戸出村ニ至ル
- 第一百六號 高岡市大字高岡御馬出町ヨリ北般若村大字大清水村ニ至ル
- 第一百七號 高岡市大字横田村ヨリ守山村大字守山町ニ至ル
- 第一百八號 高岡市大字横田村ヨリ久目村大字池田村ニ至ル
- 第一百九號 高岡市大字横田村ヨリ同市大字木舟町ニ至ル
- 第一百號 阿尾村大字阿尾村ヨリ女真村大字脇村ニ至ル
- 第一百一號 宇波村大字宇波村ヨリ同村大字大窪村ニテ能登國界ニ至ル
- 第一百十二號 稻積村大字間嶋新村ヨリ碓石村大字懸札村ニ至ル
- 第一百十三號 阿尾村大字指崎村ヨリ余川村大字下余川村ニ至ル
- 第一百十四號 熊無村大字中村ヨリ同村大字論田村ニテ能登國界ニ至ル
- 第一百十五號 氷見町大字氷見中町ヨリ久目村大字岩ヶ瀬村ニテ能登國界ニ至ル
- 第一百十六號 速川村大字小久米村ヨリ同村大字三尾村ニテ能登國界ニ至ル
- 第一百十七號 窪村大字窪新村ヨリ神代村大字神代村ニ至ル
- 第一百十八號 守山村大字東海老坂村ヨリ布勢村大字飯久保村ニ至ル
- 第一百十九號 氷見町大字氷見御座町ヨリ佛生寺村大字佛生寺村ニ至ル

- 第一百二十號 福田村大字佐野村ヨリ石堤村大字勝木原村ニ至ル
- 第一百二十一號 守山村大字守山町ヨリ石動町大字今石動町ニ至ル
- 第一百二十二號 東五位村大字六家村ヨリ國吉村大字四日市村ニ至ル
- 第一百二十三號 東五位村大字中保村ヨリ國吉村大字佐賀野村ニ至ル
- 第一百二十四號 立野村大字立野村ヨリ赤丸村大字赤丸村ニ至ル
- 第一百二十五號 福岡町大字福岡町ヨリ西五位村大字土屋村ニ至ル
- 第一百二十六號 戸川町大字戸出村ヨリ立野村大字立野村ニ至ル
- 第一百二十七號 福田村大字上北島村ヨリ敷波村大字安養寺新村ニ至ル
- 第一百二十八號 戸出町大字戸出村ヨリ荒川村大字芹川村ニ至ル
- 第一百二十九號 戸出町大字戸出村ヨリ梅檀野村大字宮森新村ニ至ル
- 第一百三十號 中田町大字中田町ヨリ梅檀野村大字西部金屋村ニ至ル
- 第一百三十一號 柿田村大字串田新村ヨリ城端町大字城端西上町ニ至ル
- 第一百三十二號 雄神村大字三谷村ヨリ梅檀山村大字川内村ニ至ル
- 第一百三十三號 東山見村大字金屋岩黒村ヨリ利賀村大字下百瀬川村ニ至ル
- 第一百三十四號 利賀村大字仙純原村ヨリ平村大字東中江村ニ至ル



- 第三百二十五號 井波町大字井波八日町ヨリ平村大字大島村ニ至ル
- 第三百二十六號 平村大字下梨村ヨリ上平村大字西赤尾町村ニ至ル
- 第三百二十七號 南山田村大字上田村ヨリ上平村大字西赤尾町村ニテ飛驒國界ニ至ル
- 第三百二十八號 城端町大字城端西上町ヨリ平村大字大嶋村ニ至ル
- 第三百二十九號 東石黒村大字田尻村ヨリ南山田村大字是安村ニ至ル
- 第三百四十號 吉江村大字高宮村ヨリ太美山村大字刀利村ニテ加賀國界ニ至ル
- 第三百四十一號 福光町大字福光村天神町ヨリ西太美村大字小院瀬見村ニ至ル
- 第三百四十二號 吉江村大字吉江中村ヨリ井波町大字山見村ニ至ル
- 第三百四十三號 福野町大字福野村ヨリ井口村大字池尻村ニ至ル
- 第三百四十四號 福野町大字福野村新町ヨリ井波町大字井波八日町ニ至ル
- 第三百四十五號 五鹿屋村大字荒高岸村ヨリ福野町大字福野村ニ至ル
- 第三百四十六號 醍醐村大字横越村ヨリ山王村大字江尻村ニ至ル
- 第三百四十七號 出町大字杉木新村ヨリ井波町大字井波町ニ至ル
- 第三百四十八號 五鹿屋村大字荒高屋村ヨリ青嶋村大字青嶋村ニ至ル
- 第三百四十九號 北般若村大字大清水村ヨリ中野村大字中野新村ニ至ル

- 第三百五十號 油田村大字千代村ヨリ山野村大字岩屋村ニ至ル
- 第三百五十一號 油田村大字三郎丸村ヨリ柳瀬村大字東開發村ニ至ル
- 第三百五十二號 油田村大字三郎丸村ヨリ若林村大字西中村ニ至ル
- 第三百五十三號 出町大字中神村ヨリ福岡町大字福岡町ニ至ル
- 第三百五十四號 出町大字杉木新村ヨリ石動町大字今石動飯田町ニ至ル
- 第三百五十五號 石動町大字福町村ヨリ東野尻村大字苗加村ニ至ル
- 第三百五十六號 出町大字杉木新村ヨリ津澤町大字津澤町村ニ至ル
- 第三百五十七號 出町大字深江村ヨリ水島村大字經田村ニ至ル
- 第三百五十八號 石動町大字今石動上野町ヨリ福野町大字福野村浦町ニ至ル
- 第三百五十九號 津澤町大字養輪村ヨリ城端町大字城端西上町ニ至ル
- 第三百六十號 駿波村大字高木村ヨリ北蟹谷村大字内山村ニテ加賀國界ニ至ル
- 第三百六十一號 北蟹谷村大字末友村ヨリ同村大字八伏村ニテ加賀國界ニ至ル
- 第三百六十二號 東蟹谷村大字平櫻村ヨリ同村大字内山村ニテ加賀國界ニ至ル
- 第三百六十三號 石動町大字後谷村ヨリ東蟹谷村大字平櫻村ニ至ル
- 第三百六十四號 南谷村大字安樂寺村ヨリ同村嘉例谷村ニテ加賀國界ニ至ル



第百六十五號 石動町大字福町ヨリ南谷村大字嘉例谷村ニテ加賀國界ニ至ル  
 第百六十六號 石動町大字今石動町ヨリ子撫村大字櫻町村ニ至ル  
 同條 堤防ノ項左ノ五川ヲ削除ス

早月川 神通川 小矢部川 赤江川 荒川

●訓令第百七十二號 明治二十四年十二月十五日 郡市役所 町村役場

明治二十四年二月訓令第二十八號市町村土木費補助申請手續第八條左ノ通り更正ス

第八條 補助金ハ工事竣功検査ノ後其算額ニ依リ之ヲ下付ス

但シ豫算超過ノ工費額ニ對シテハ補助セテ下付セス

●告示第九十三號 明治二十四年十二月二十日

明治二十四年三月告示第十七號當廳工事請負規則第十九條中「落札ノ日ヨリ第廿日ヨリ正午迄」トアルヲ「落札ノ翌日午後第二時迄」ト改正シ本日ヨリ實施ス

●告示第二十一號 明治二十五年四月十五日

明治二十四年三月告示第十七號富山縣工事請負規則第三十二條へ左ノ各項ヲ追加ス

追加

但左ノ各項ニ該スルモノハ其時々請求スルコトヲ得

一 工費五千圓以上壹萬圓未満ニシテ既濟部六歩形以上ニ至ルモノハ請負金高ノ四歩以内  
 一 工費壹萬圓以上ハ既濟部四歩形以上毎ニ請負金高ノ三歩以内

堤防

●訓令第百十號 明治二十四年五月二十九日 郡市役所 町村役場

明治二十二年七月訓令第百六十五號第二治水區出張所位置本年六月一日ヨリ左ノ通り變更ス

第二治水區出張所 上新川郡島村大字向新庄村

●訓令第九四號 明治二十四年十月二十八日 郡市長

凡ソ河川堤防ノ破壊セルハ洪水最モ其主因ナルヘシト雖モ亦各所堤防ニ水門ヲ伏込ミ且其前部ニ於テ堰キヲ設ケ強テ過分ノ水量ヲ引用セルヨリ自然幹川ノ水勢ヲ減殺シテ土砂滯積シ且河心ハ益傾斜横流セル等渾テ破壊ノ媒介者ヲラサルハナシ抑用水路ナルモノハ農産上唯一ノ要件ニシテ之ヲ忽諸ニ付シ去ル可カラサルノ所目下ノ現況ニ就キ之ヲ觀察スレハ幹川ノ狀況ハ業ニ已ニ變遷セルニモ拘ラス猶舊套ヲ墨守シ強テ引用セントスルモノ、如ク從テ其修補費ハ年々歲々ニ増嵩シ且其上幹川ノ出水毎ニ用水口前後ノ堤防ヲ破壊シ延ヒテ用水路ニ及フノミナラス爲ニ良田ヲ流亡スルモノ亦鮮少ナラス是即チ前記ノ事實ニ依ラスンハアラス特ニ近來ニ至リ其水災ハ益頻繁ニテ河川堤防ノ復舊工費モ亦年一年ヨリ多キヲ加フルニ至ル今ニシテ之カ豫防ノ策ヲ講究セスンハ遂ニ



言フヘカラサルノ慘害ヲ醸スニ至ルハ必然ナリトス然ルニ治水ノ方策ニ於テハ概テ巨多ノ費用ヲ要シ且長日月ヲ期セサレハ俄ニ其實効ヲ見ル能ハサルニヨリ之カ方策ハ目下專ラ計畚中ニ有之候得共先第一ニ破壊ノ媒介者タル各箇ノ用水ヲ成ヘク上流安全ノ位置ニ合セ以テ各所ノ田圃ヲ灌漑セシメハ一ツハ以テ堤防ノ破壊ヲ豫防シ一ツハ以テ各箇ノ用水路ノ費用ヲ減却シ其經濟上ヨリ得ルノ利益蓋亦少小ニアラサルヘシ依テ各位ニ於テハ宜シク其意ヲ休シ此際各用水關係者ニ篤ト諭示シ成ヘク各箇ノ用水路ヲ合併セシムル様深ク注意セラルヘシ

右訓令ス

●訓令第七十八號 明治二十五年八月五日

郡市役所 町村役場

縣下河川調査ニ關シ土木監督署員ヨリ直接照會若クハ協議スルトキハ之ニ應シ調査ニ要スル一切ノ事項ニ付支障ナキ様取計フヘシ

●第七類

●國稅

●縣令第四十二號 明治二十四年八月十五日

國稅過誤納金請求手續左ノ通相定ム

國稅過誤納金請求手續

第一條 指令又ハ達示ノ結果ニ依リ國稅金ノ過納又ハ誤納トナリ之カ還付ヲ要求スルトキハ左ノ手續ニ依ルヘシ

第二條 地租其他勅令ニ依リ市町村長ニ於テ徵收スヘキ分ヲ除キ他ノ國稅金ニ在テハ第一號書式ノ請求書ヲ調製シ債主ヨリ直ニ所在間稅分署ニ差出スヘシ

第三條 地租其他勅令ニ依リ市町村長ニ於テ徵收スヘキ國稅金ニ在テハ債主ヨリ市役所又ハ町村役場ニ之ヲ請求スヘシ

市町村長ニ於テ前項ノ請求ヲ受タルトキハ相當調査ヲ爲シ直接國稅ト間接國稅トヲ區分シ第二號書式ノ請求書ヲ調製シ所在直稅分署又ハ間稅分署ニ差出シ過納又ハ誤納金ヲ請取債主ヘ交付スヘシ

第四條 地租其他勅令ニ依リ市町村長ニ於テ徵收スヘキ國稅ト雖モ納期限後ニ至リ納稅人ヨリ直



ニ納付シタルモノニ係ル請求書ハ第二條ニ依リ直接國稅ト間接國稅トヲ區分シ所在直稅分署又ハ間稅分署ニ差出スヘシ

第五條 徵稅令書面記載ノ金額ニ超過シタルモノニ係ル請求書ハ間接國稅ト雖モ之ヲ直稅分署ニ差出スヘシ

第六條 富山市長ニ於テ會計主務官ヨリ過納又ハ誤納金ノ交付ヲ受タルトキハ第三號書式ノ領收證書ヲ差出スヘシ

(第一號) 用紙八寸野紙  
過(誤)納金下戻請求書

一金何圓何拾錢 何年度國稅

內譯

金何圓何拾錢 釀造酒稅

但第何期納稅後何月何日檢査濟何石何斗及何月何日檢査濟何石何斗廢敗ノ爲メ遺石稅免除ノ義何年何月何日許可相成候分

金何圓何拾錢 菓子營業稅

但何年何半年新規納稅後製造營業雇人何人トシテ出願ノ分雇人何人ノ談記ニ付何年何月何

日付ヲ以テ訂正方出願何年何月何日許可相成候分  
右拂戻相成度候也

郡市町村大字番地

年月日

債主氏

名印

富山縣知事宛

凡 例

一本請求書ハ書面上其原因ヲ調査シ過(誤)納額ヲ算出シ得ヘキ事項ヲ詳記スヘシ

一過(誤)納金ハ指令又ハ達示ノ日ヲ以テ會計年度ノ分界ヲ立テ別紙ニ認メ請求スヘシ

一既往ニ溯ル過納金ノ請求ハ數年分ノ總額ヲ掲ケ内譯ニ金額何年度ト區分記載シ尙ホ式ノ如ク但書ニ事由ヲ詳記スヘシ

一過(誤)納金ハ稅目事由ノ異ナル毎ニ別廉ニ列記スヘシ

(第二號) 用紙八寸野紙

過(誤)納金下戻請求書

一金何圓何拾錢 地 租

內譯



金何圓何拾錢

何年分(曆年)田租

但第何期及第何期納租後誤認訂正ノ爲地租金何圓ノ處何年何月何日金何圓ニ修正許可相所候分

金何圓何拾錢

何年分(同上)市街宅地租

但何年何半年分納租後道路敷地ノ爲メ地租金何圓分何年何月何日買上相成候ニ付同年何月ヨリ何年何月迄ノ分金何圓ヲ控除シ金何圓ヲ納付スヘキ處金何圓納人濟ニ付差引過納ノ分右拂戻相成度候也

年月日

市町村長

氏

名印

富山縣知事宛

凡例

- 一本請求書ハ書面上其原因ヲ調査シ過(誤)納額ヲ算出シ得ヘキ事項ヲ詳記スヘシ
- 一過(誤)納金ハ指令又ハ達示ノ日ヲ以テ會計年度ノ外界ヲ立テ別紙ニ認メ請求スヘシ
- 一既往ニ溯ル過納金ノ請求ハ數年分ノ總額ヲ掲ケ内譯ニ金額何年度地租ハ何年分(曆年)ト區分記載シ尙ホ式ノ如ク但書ニ事由ヲ詳記スヘシ
- 一過(誤)納金ハ税目及地目事由ノ異ナル毎ニ別紙ニ列記スヘシ

(第三號) 用紙八寸對紙

過(誤)納金領收證

一金何圓何拾錢

國稅

內譯

金何圓何拾錢

地租

內

金何圓何拾錢

何年分(曆年)田租

但云々(請求書但書ノ事由ニ同シ)

金何圓何拾錢

何年分(同上)市街宅地租

但云々(同上)

金何圓何拾錢

人力車稅

但云々(同上)

右正ニ領收候也

年月日

富山市長

氏

名印

會計主務官宛



凡例 (第二號書式凡例ニ同シ)

●縣令第四十六號 明治二十五年四月八日

明治二十年三月三勅令第五號所得稅法第一條但書ニ依リ所得ヲ合算スルトキハ同法第六條ノ所得金高  
届書へ各自ノ所得ヲ區分シ合計ヲ掲クヘシ

●告示第二十號 明治二十五年四月八日

明治二十年六月六告示第六十三號ハ自今廢止ス

▲告示第二十號參照

告示第六十三號 (明治二十年六月二十二日)ハ所得稅納人心得書ノ件ナリ

●訓令第八十三號 明治二十四年四月十七日

直稅署 富山 分署  
高岡 分署

所得稅法施行細則第九條ニ依リ所得事項通報ニ關スル件ハ特ニ分署長ノ名ヲ以テ取扱フ  
ヘシ

●訓令第八十四號 明治二十四年四月十七日

郡役所

本縣下富山市及高岡市ニ係ル所得稅法施行細則第九條ニ依リ所得事項通報ノ件ハ爾後當該直稅分  
署長ヲシテ爲取扱候條右ニ關スル件ハ同分署長へ宛テ之ヲ爲スヘシ

●訓令第八十五號 明治二十四年四月十七日

郡役所

左ノ各府縣ニ於テハ市ニ係ル所得稅法施行細則第九條ノ所得事項通報ニ關スル件ハ直稅署長又ハ  
直稅分署長ヲシテ往復可爲致旨通牒有之候條右ニ依リ取扱フヘシ

但爾後通牒有之節ハ其都度直稅署ヨリ通報爲致候條本文ニ依リ取扱フヘシ

愛媛縣 兵庫縣 大坂府 福井縣 秋田縣 和歌山縣 鹿兒島縣 島根縣

佐賀縣 岡山縣 京都府 德島縣 岐阜縣 熊本縣 岩手縣

右直稅署長取扱

廣島縣 東京府 靜岡縣 福岡縣 山口縣

右直稅分署長取扱

●達乙第二十六號 明治廿四年四月廿八日 所得稅調查委員會長 所得稅調查委員

明治二十年九月三十日達第八百三十三號所得稅調查委員支給規則第一條中「文具料金拾錢」ノ六字  
削除ス

●訓令第三百三十五號 明治廿四年七月十七日

郡役所

明治二十一年五月達第三百五十八號菓子製造稅額人別調查表書式備考へ左ノ項ヲ追加ス

一本表ハ賣上金高三拾圓以上ノモノト未滿トヲ分別調製スヘシ

一廢業者ノ製造稅額人別調查書モ本表ニ依リ調製シ其都度差出スヘシ



▲訓令第三百三十五號參照

達第三百五十八號 (明治二十一年五月十五日)

本年二月勅令第八號ヲ以テ菓子稅則中改正相成候ニ付テハ其第十四條ニ依リ毎年一月ヨリ六月マテノ分ハ七月七月ヨリ十二月マテノ分ハ翌年一月別紙書式ニ從ヒ調査書ヲ製シ其月末日迄ニ差出スヘシ

何郡明治何年 自何月 菓子製造稅額人別調査表  
至何月

稅額	當期賣上金高	營業人住所氏名
合計		

右調査候也

年月日

郡長

知事宛

備考

一當期賣上金高ノ前期又ハ前々期ニ對シ著シキ増減アルモノハ人別ニ其理由書ヲ附スヘシ

●訓令第八號

明治二十五年一月二十二日

郡役所

直稅分署

間稅分署

明治十八年<sup>六</sup>月<sup>六</sup>郡乙第二十三號同年<sup>七</sup>月<sup>七</sup>郡乙第三十三號同年<sup>七</sup>月<sup>七</sup>番外第三十六號同年<sup>十二</sup>月<sup>十二</sup>應第百十七號同二十年<sup>八</sup>月<sup>八</sup>達第七百三十七號同二十一年<sup>六</sup>月<sup>六</sup>達第四百四十六號同年<sup>八</sup>月<sup>八</sup>達第五百六十九號同二十二年一月<sup>一</sup>訓令第十六號ハ自今廢止ス

▲訓令第八號參照

郡乙第二十三號(明治十八年六月十八日)ハ菓子稅則取扱心得書ノ件ナリ

郡乙第三十三號(明治十八年七月九日)ハ車稅規則第五則耕作一途用其他免稅車員數調毎年差

出方ノ件ナリ

番外第三十六號(明治十八年七月十六日)ハ菓子營業者廢業セントスルトキ營業中ノ殘品賣捌

方ノ件ナリ

應第百十七號(明治十八年十二月九日)ハ租稅檢査規程ノ件ナリ

達第七百三十七號(明治二十年八月二十日)ハ租稅檢査員派出所規程ノ件ナリ

達第四百四十六號(明治二十一年六月二十七日)ハ煙草營業額取扱手續ノ件ナリ

達第五百六十九號(明治二十一年八月廿八日)ハ醬油稅檢査規程ノ件ナリ

訓令第十六號(明治二十二年一月二十四日)ハ車稅規則取扱手續ノ件ナリ







鑛區位置	鑛種	製產物價額	稅額	代理人氏名

●訓令第六十八號 明治二十五年六月一日

直稅分署在勤  
收入官吏

鑛業稅又ハ鑛區稅ヲ滯納スル者アルトキハ其都度滯納者ノ住所氏名及ヒ稅目金額ヲ所轄鑛山監督署長ヘ通知スヘシ

●訓令第二十號 明治二十五年三月十一日

直稅分署在勤  
收入官吏

出納官吏現金出納簿ノ儀從來一人ニシテ數職ヲ兼タル者ハ各職務並ニ各主管廳毎ニ各別ニ調製ヲ要シ候處來ル二十五年ヨリ右區別方ヲ廢シ一人一冊ヲ備ヘ總テ之ニ記入整理スヘキ旨被達候條此旨心得ヘシ

●訓令第七二號 明治二十五年六月十六日

郡長

町村役場ニ備置セル地租其他國稅ニ關スル帳簿ノ儀ハ納稅ノ基礎ヲ確ムル一大緊要ノ物ナル論ヲ俟タス故ニ町村ニ於テハ自カラカメテ精數ニ整理スヘキ當然ノ事ニ付町村制實施以降ハ深ク之ニ干涉セサルノ方針ヲ執リ來リ候處現今ニ至リ町村帳簿ノ整理漸ク寬漫ニ流カレ中ニハ徵稅令書ト符合セス毎納期多少ノ紛雜ヲ生シ其他關係事務上往々確實ナラサル向モ有之哉ニ相聞ヘ此儘推移

ルトキハ終ニ帳簿ハ錯雜紊亂シテ收拾スヘカラサルニ至ルヤモ亦計ラレサルニ付各郡衙ニ於テ町村役場巡視ノ際ハ勿論平素特ニ注意ヲ加ヘ明治十八年一月本縣乙第七號達地租ニ關スル諸帳簿樣式申土地臺帳及土地所有者名寄帳ノ整否地價帳書圖而野取帳其他書類ノ存否及明治二十二年七月本縣訓令第百八十八號國稅ニ關スル一人別徵稅帳等ノ整否ヲ監査シ他日徵稅上ノ紛雜ヲ豫防候樣精々督勵方取計ハルヘシ

●訓令第百十四號 明治二十五年十二月九日

郡市役所 町村役場

明治十八年一月乙第七號達市役所町村役場備ノ地租ニ關スル帳簿樣式中第三號土地臺帳ハ屬スル乙號總計式左ノ通改正ス

年 度	段 別	田 之 部		何 市 町 村 計	
		内 步	外 步	内 步	外 步
二十五年一月一日現在計					
增					
減					
二十六年一月一日現在計					



二十七年一月一日現在計

、																				
、																				
、																				
、																				
、																				
、																				
、																				
、																				
、																				
、																				

凡 例

一本表ノ員數ハ日本數字ヲ用ユヘシ

一 地租改正以前ニ係ル荒地ハ相當欄ヘ内書ニスヘシ

一 拂下地下渡地等ノ類ニシテ月割徴收スヘキモノ、地租ハ全額ヲ加除スヘシ

一 第一欄ハ前年中異動ニ係ル増減ヲ差引シテ本年一月一日ノ現在計ヲ記載ス

一 第二第三欄ハ本年中異動ニ係ル増減額ヲ記載ス

一 第四欄ハ本年中異動ニ係ル増減ヲ差引シ翌年一月一日ノ現計ヲ記載ス

一 第五欄ハ本年中異動ニ係ルモノナク本年ト翌年一月一日ノ計ト異動ナキモノハ其欄内初區「前年同額」ト記入シ以下ノ每區「同上」ヲ記載ス

一 畑、郡村宅地、市街宅地、鹽田、鐵泉地、池沼、山林、牧場、原野、雜種地、公立學校地、鄉村社地、墳墓地、用惡水路、溜池、堤塘、井溝、鐵道用地、禁伐林、道路、水道川地、新開地、開墾地（年期中免租ノ土地）ハ田之部ニ倣ヒ一地目限リ區分調製スヘシ

一 官有地ハ地目ノ區分ヲ要セス官有地ノ一種目トシテ田之部ニ倣ヒ調製スヘシ

▲訓令第百十四號參照

乙第七號（明治十八年一月十六日）ハ地租ニ關スル諸帳簿樣式中第三號土地臺帳ヘ屬スル乙號總計表ノ件ナリ

●訓令第百十五號 明治二十五年十二月九日 郡市役所 町村役場

市役所町村役場租務取扱並諸帳簿地圖整理手續左ノ通相定ム

但明治二十四年八月訓令第百四十八號ハ廢止ス

第一條 土地臺帳ニ關スル願届書ヲ領受シタルトキハ毎年字番地目段別地價地租氏名トモ土地臺帳ニ照合シ相違ナキヲ認メ三日以内所在直稅分署ヘ送達スヘシ其指令達示ハ同署ヨリ送附スヘキニ付直ニ願届人ヘ交付スヘシ

第二條 土地分割又ハ合併届ヲ受領シタルトキハ與書スヘシ

土地分割段別地價ノ分配ニ於テ不適當ト見認ムルモノハ說示シ若シ承諾セサルモノハ意見書ヲ



添付スヘシ

第三條 土地臺帳ニ記載ノ所有者質取主ノ轉居又ハ改氏名ノ届書ヲ受領シタルトキハ戸籍簿等ニ就キ事實ヲ調査シテ與書又ハ意見書ヲ添付スヘシ  
住所氏名ノ誤謬訂正願ヲ受領シタルトキハ前項手續ノ外尙ホ誤謬ヲ證スルニ足ルヘキ物件ヲ添付セシムヘシ

第四條 左ニ記載ノ事項ハ所在直稅分署ヨリ時々通知スヘキニヨリ關係諸帳簿地圖ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ加除訂正ヲナスヘシ但地租毎納期終盡ノ前十日以内ハ其都度之ヲナスヘシ

一土地ノ異動

一土地所有ノ移轉又ハ質入及其解約

一土地所有者及質取主住所氏名ノ異動

第五條 前條第一土地異動ノ通知ヲ受領シ土地臺帳及土地所有者名寄帳ノ每筆式ニ從ヒ加除訂正ヲナシタルトキハ其都度原額ト訂正額トヲ集計シ通知書ニ記載ノ合計額へ對照毎筆加除訂正ノ誤謬脫漏ナキヲ確ムヘシ

土地所有者名寄帳各自ノ合計額ハ訂正ニ係ル差額ヲ差引更ニ計ヲ付シ尙ホ每筆集算シ相違ナキ

ヲ認メ原計ヲ朱線ニテ消抹スヘシ

第六條 地圖ハ實地ト土地臺帳ト相映テ時々整理ヲ要スヘキニ付凡ソ左ノ各項ニヨリ尙ホ材料ヲ要スヘキモノハ所有者ヨリ適宜之ヲ徴シ加除訂正スヘシ

地目ノ變更シタルトキハ原地目ヲ朱線ニテ消抹シ現地目ヲ墨書スヘシ

荒地成ハ現地目ノ下へ荒地ト墨書シ年期開原地ニ復シタルトキハ荒地ノ目ヲ朱線消抹スヘシ

畦畔廢設又ハ土地分合ニヨリ不用ニ屬シタル舊境界線舊地番號ハ朱點ヲ以テ消抹シ新境界線新

地番號ハ墨記スヘシ脱落地重複地其他ノ異動ニシテ廢除ハ朱書新設ハ墨書スヘシ但不得止場合

ハ掛ケ紙ヲ以テ便宜訂正スルモ妨ケナシ

第七條 第五條第六條ノ手續ヲ了シタルキハ其時々通知書ノ系欄外上部へ土地臺帳訂正濟土地

所有者名寄帳訂正濟及地圖訂正濟ノ印及市町村長並主任ノ認印ヲ捺シ每曆年大字限リ之ヲ摺

綴保存スヘシ但前年ニ屬スル異動ニシテ翌年三月迄ニ處分濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ尙ホ之ニ

追綴スヘシ

第八條 第四條第二第三ノ土地所有者又ハ質取主ノ異動通知ヲ受領シ土地臺帳及土地所有者名寄帳ノ每筆加除訂正ヲ了シタルトキハ再校介ヲ爲シ相違ナキヲ認メ通知書へハ前條ニ準シ認印ヲ捺シ土地異動ノ分ト區別保存スヘシ



第九條 第七條ノ纏綴シタル土地異動ノ通知書ハ翌年四月十日限り地目及異動種類別ニ合計ヲ付シ之ヲ土地臺帳大字限リ前年計ニ對シ増減差引ヲナシ土地臺帳町村總計書式ニ倣ヒ地目段別地價地租ヲ記載シタル大字計ヲ作り土地臺帳末尾ニ添綴スヘシ

市町村長ハ前項各大字計ヲ累計シ市町村總計書ヲ調製シ其年四月十五日以内所在直稅分署ヘ差出シ分署長ノ檢印ヲ受クヘシ

第十條 前條ノ手續ヲ了シタルトキハ土地臺帳土地所有者名寄帳地圖ノ整理完結セシ旨市長ハ知事町村長ハ郡長ヘ報告スヘシ

▲訓令第百十五號參照

訓令第百四十八號(明治廿四年八月二十一日)ハ地租ニ關スル事務取扱手續ノ件ナリ

●訓令第百十六號 明治廿五年十二月九日

郡市役所 町村役場

市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅收納順序左ノ通相定ム

但明治二十四年<sup>十一月</sup>訓令第百六十七號ハ廢止ス

第一條 國稅徵收法第九條ニ據リ發スヘキ徵稅傳令書ハ第一號式ニ依ルヘシ

第二條 納期ノ一定シタル國稅ニアツテハ第二號式隨時徵收ノ國稅ニアツテハ第三號式ノ國稅金收納簿及第四號式ノ國稅金收納日計簿ヲ備ヘ式ノ如ク記載スヘシ

第三條 國稅金收納簿國稅金收納日計簿ハ會計年度ノ區分ニ依リ調製スヘシ

田租ニ係ル第二號式收納簿ハ第六期第三期及第四期第五期ノ各兩期毎ニ調製スヘシ

第四條 既ニ發シタル徵稅傳令書ニ對シ増額ヲ要スルトキハ徵稅傳令書ヲ逐發スヘシ

第五條 既ニ發シタル徵稅傳令書ニ對シ減額ヲ要スルトキハ更ニ徵稅傳令書ヲ發シ既ニ發シタル分ハ之ヲ取消スヘシ

第六條 納期限ヲ過キ稅金ヲ金庫ヘ納付シタルトキハ其時々第五號式ニ依リ其事由ヲ所在直稅分署收入官吏ニ報告スヘシ

第七條 國稅徵收法第十三條ノ滯納報告書ハ第六號式ニ依ルヘシ

第八條 毎年度經過後該年度間ノ地租納人員ヲ取調第七號式ニ依リ翌年度四月十日迄ニ所在直稅分署長ニ報告スヘシ

第九條 本順序ニ關スル諸帳簿書類ハ當該年度ヨリ滿五年度間之ヲ保存スヘシ

第十條 田租ニ係ル第二號式收納簿ハ明治廿五年度第四期分ヨリ施行ス

(第一號式)

(。印ハ朱書)

用紙適宜 縱四寸五分  
横三寸三分 ノモノニ枚積



徵稅傳令書		領收證	
第何號國稅	何郡(市)何町(村)何某納	第何號國稅	何郡(市)何町(村)何某納
明治何年度何(租)稅	何年何半年分	明治何年度何(租)稅	何年何半年分
一金何程 ○ 取扱者印 <small>何月何日領收 ○ 收入役印</small> 右何月何日限當市(町村)收入役ニ相納ムヘシ 明治何年何月何日 何郡町(村)長何某印 何市		市町村長檢印 一金何程 ○ 取扱者印 右領收候也 明治何年何月何日 何郡町(村)收入役何某印 何市	

記載例

- 一 何税トアルハ目(設令ハ田租、畑租、菓子營業稅ノ如シ)ヲ記載スルモノトス
- 一 税目ノ次欄ハ徵稅令書ニ記載アル收納區分ヲ記載スルモノトス
- 一 領收證ハ最初配付ノ際傳令書ニ準シ同一記入ヲナシ税金領收ノ時年月日ヲ記入シ捺印ヲナシ其檢印ヲ與フルトキ傳令書ト切離シテ之ヲ納人ニ交付スルモノトス
- 一 納人ヨリ税金ヲ分納スルコトアルトキハ別ニ適宜ノ領收證ヲ交付シ置キ完納ニ至リ前項ノ手續ヲナシ前ノ分ヲ返付セシムルモノトス
- 一 前項分納ノ後最後ニ至リ完納シ得サルトキハ其金高ヲ内書シテ前項ノ手續ヲナヌモノトス

(第二號式)

何年度何稅	何市役所(何村役場)
國稅金收納簿	(用紙美濃)

(此帳簿ハ目毎ニ調製スヘキモ適宜口坐ヲ別ナシ之ヲ合綴スルモ妨ケナシ)



何。年。度。田。租

第 〇六 (四) 期	第 〇三 (五) 期	納 人 氏 名
〇第何號徵稅令書高 ①。一金何程〇—取扱者印以下同シ 〇内 ②。金何程〇 領 何月何日 收 ③。何月何日納付〇 ④。金何程〇 何月何日滞納報告	〇第何號徵稅令書高 ①。一金何程〇 〇内 ②。金何程〇 領 何月何日 收 ③。金何程〇 領 何月何日 收 ④。金何程〇 ⑤。何月何日納付〇 ⑥。金何程〇 領 何月何日 收 ⑦。何月何日納付〇 ⑧。金何程〇 領 何月何日 收 ⑨。何月何日納付〇	何 某
〇第何號何月何日 ⑩。一金何程〇 傳令書割印以下同シ ⑪。何月何日領收〇 〇第何號何月何日 ⑫。一金何程〇 領 何月何日 收	〇第何號何月何日 ⑬。一金何程〇 ⑭。何月何日何某(賣渡(買入))ニ 付削除〇 〇第何號何月何日 ⑮。一金何程〇 ⑯。何月何日領收〇	何 某 何 某 代 人

第 一 期	第 二 期	納 人 氏 名
〇第何號徵稅令書高 ①。一金何程〇 領 何月何日 収 ②。金何程〇 領 何月何日 収 ③。何月何日納付〇 〇第何號徵稅令書高 ④。一金何程〇 増 何月何日 額	〇第何號徵稅令書高 ①。一金何程〇 領 何月何日 収 ②。金何程〇 領 何月何日 収 ③。何月何日納付〇 ④。金何程〇 減 何月何日 額 ⑤。金何程〇 領 何月何日 収 ⑥。金何程〇	何 某
〇第何號何月何日 ⑦。一金何程〇 ⑧。何月何日滞納報告〇	〇第何號何月何日 ⑨。一金何程〇 ⑩。何月何日領收〇 〇第何號何月何日 ⑪。金何程〇 ⑫。何某ヨリ買入(質取)ニ付追加 ⑬。何月何日領收〇	何 某 何 某



後	半	年	分	前	半	年	分	納	人	氏	名
何年度 烟草營業稅 (菓子稅賣藥稅船稅車稅牛馬賣買免許稅共此例ニ依ル但菓子製造稅ハ后半年分トアルヲ第一期トシ前半年分トアルヲ第二期トス)											
				第何號何月何日 ○。一金何程○ ○。何月何日領収○				第何號何月何日 ○。一金何程○ ○。減額ニ付更正ニ依リ削除○			
				第何號何月何日 ○。一金何程○ ○。減額ニ付更正 ○。何月何日領収○				何 何 何 某 某			
				第何號何月何日 ○。一金何程○ ○。何月何日領収○				何 何 何 某			
				第何號何月何日 ○。一金何程○ ○。何月何日領収○				何 何 何 某			

○(記載式地租ノ例ニ依ル)

記載例

- 一 徵稅令書ヲ受ケタルトキハ①ノ如ク徵稅傳令書ヲ發シタルトキハ⑤ノ如ク記載スルモノトス
- 一 税金ノ領收ヲ了シタルトキハ其都度各納稅人ノ欄へ②ノ如ク其日々ノ合計額ヲ③ノ如ク記載スルモノトス
- 一 領收金ヲ金庫ニ納付シタルトキハ④ノ如ク滯納報告ヲナシタルトキハ⑥ノ如ク記載スルモノトス
- 一 土地所有權移轉又ハ質入等ノ爲メ國稅徵收法施行細則第三條ニ依リ傳令書ヲ更正シタルトキハ元所有者等ノ分ハ⑦ノ如ク記入シテ其金額氏名ヲ消抹シ新所有者等ノ分ハ⑧ノ如ク追記スルモノトス
- 一 増額ノ爲メ追加徵稅令書ヲ受ケ之ニ對シ徵稅傳令書ヲ發シタルトキハ⑨ノ如ク又減額違ヲ受ケ徵稅傳令書ヲ更正シタルトキハ⑩ノ如ク記載シ最初記載之分ヲ消抹スルモノトス
- 一 徵稅傳令書發付前所有權移轉等アリタルトキハ⑪ノ如ク記入シテ其氏名ヲ消抹スルモノトス
- 一 冒頭欄ハ徵稅令書ヲ受ケタルトキ及爾后時々ノ記入ヲナスヘキニ付最初記簿ノ際差支ナキ様餘



白ヲ存シ又ハ別紙ヲ付シテ之ニ充ツヘシ  
(第三號式)

何年度隨時收入何稅  
國稅金收納簿 (用紙美濃)

(此帳簿ハ目毎ニ調製スヘキモ適宜口)  
(坐ヲ設ケ之ヲ合綴スルモ妨ケナシ)

何市役所(何村町役場)

何年度 地租 (所得稅及自家用料酒) (鑑札料共此例ニ依ル)		納期限		徵稅傳令書		納人氏名	
○第何期 ○何租	○第何號 ○一金何程○ ○何月何日納付○	○何月 ○何日	○第何號 ○(一金何程)○ ○何月何日領収○	○第何號 ○(一金何程)○ ○何月何日領収○	○何	○何	○某
			○第何號				

○何年分 ○何租	○第何號 ○一金何程○ ○何月何日納付○	○何月 ○何日	○(一金何程)○ ○何月何日領収○	○第何號 ○(一金何程)○ ○何月何日領収○	○何	○何	○某
			○第何號				
			○(一金何程)○ ○何月何日領収○		○何	○何	○某

記載例

一記載ノ順序其他第二號式ニ準ス  
(第四號式)

何年度 國稅金收納日計簿 (用紙適宜)	何市役所(何村町役場)
---------------------------	-------------







右及報告候也

年月日

富山縣直稅署何分署収入官吏

富山縣収稅屬何某殿

(第六號式)

國稅滯納者報告

税目	徵稅合書番號	金高	住	所	氏名
何 租	何 第何號ノ内	何	何町(村)大字何々何番地	何	何
何 稅	何 第何號ノ内	何	何郡何町(村)大字何々何番地	何	何
何 稅	何 第何號ノ内	何	何町(村)大字何々何番地	何	何
何 稅	何 第何號ノ内	何	何	何	何
計					

右及報告候也

年月日

富山縣何郡(市)何町(村)長何某印

富山縣直稅署何分署収入官吏

富山縣収稅屬何某殿

備考

一納稅代人ノ定メアルモノハ必ス其本人及代人ノ住所氏名ヲ明記スヘシ  
(第七號式)

明治何年度 地租納人員報告

税目/期別	明○治○何○年○度				
	第六期	第一 前半年分	第二 後半年分	第三期	第四期
田 租					
畑 租					
郡村宅地租					
市街宅地租					
雜地租					
合計					

右及報告候也



明治何年何月何日

富山縣何郡(市)何町(村)長何某印

富山縣直稅署何分署長

富山縣収稅處何某殿

記載例

一第六期以下六欄ハ一定納期ニ係ル人員ヲ掲ケ特ニ納期ヲ定メタル人員ハ凡テ隨時ノ欄ニ掲クルモノトス

一人員ハ數字ヲ以テ記載スルモノトス

▲訓令第百十六號參照

訓令第百六十七號(明治二十四年十一月二十七日)ハ國稅金納期限後納付報告ノ件ナリ

●訓令第百十七號 明治二十五年十二月九日 郡市役所 町村役場

明治二十二年<sup>三</sup>勅令第三十三號ニ據リ市町村ニ於テ徵収スヘキ國稅元帳調製手續來ル明治二十六年一月一日ヨリ左ノ通相定ム

但明治二十二年<sup>七</sup>訓令第百八十八號ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 諸稅元帳ハ各其樣式ニ據リ調製スヘシ

煙草稅元帳

第一號樣式

賣藥營業稅元帳

第二號樣式

船稅元帳

第三號樣式

車稅元帳

第四號樣式

牛馬買賣免許稅元帳

第五號樣式

第二條 所轄開稅分署ヨリ諸鑑札ノ添附アルカ又ハ創廢等異動ニ關スル通牒アリタルトキハ直ニ元帳ノ加除ヲナスヘシ

第三條 所得稅自家用料酒酒免許料菓子稅元帳ハ適宜調製スヘシ

第四條 諸稅元帳ハ總テ各稅別大字毎ニ部分シ見出ヲ付シ置クヘシ

第五條 船車稅元帳ハ前條ニ據ルノ外其種類(蒸氣船、日本形小船、馬車、荷積車ノ類)ヲ區分シ見出ヲ付シ置クヘシ

(第一號樣式)

明治二十六年一月一日以降

煙草稅元帳

何市役所  
(何町村役場)



免 許 鑑 札 書 替 再 渡 事 故	製 鑑 札 番 號 第 〇 〇 〇 號	造 免 許 年 月 日 明 治 何 年 何 月 何 日	仲 鑑 札 番 號 第 〇 〇 〇 號	買 免 許 年 月 日 明 治 何 年 何 月 何 日	小 鑑 札 番 號	賣 免 許 年 月 日	住所 氏 名			
							第 〇 〇 〇 號	第 〇 〇 〇 號	第 〇 〇 〇 號	

記載例

製 鑑 札 番 號	造 免 許 年 月 日	仲 鑑 札 番 號	買 免 許 年 月 日	小 鑑 札 番 號	賣 免 許 年 月 日

一番號年月日ノ欄ハ鑑札面ニヨリ記入シ書替又ハ再渡ノトキハ其事由ヲ事故欄内ニ記入シ番附號及年月日ハ消印ヲ押捺スルカ又ハ斜線ヲ施スヘシ  
一改氏名又ハ住所ニ異動ヲ生スルカ又ハ代換ノトキハ事故欄内ニ其事由ヲ記入シ住所氏名ニ貼紙訂正スヘシ



一所轄外へ轉出又ハ廢止ノモノハ其事由ヲ事故欄内ニ記入シ斜線ヲ施スヘシ  
 一本帳記載スヘキ餘白盡キタルトキハ事故欄内ニ其事由ヲ記入シ斜線ヲ施シ更ニ移記スヘシ  
 一用紙ハ適宜タルヘシ  
 一以下各稅元帳ノ記入方モ本例ニ准スヘシ  
 (第二號樣式)

(第二號樣式)

明治二十六年一月一日以降

賣藥營業稅元帳

何市役所  
(何町村役場)

住所

氏

名

方名	免許	鑑札	番	替	再	渡	事	故
何々丸	鑑札番號	第○○○號	第○○○號				明治何年何月何日家替相續ニ付鑑札番替	
何々丸	鑑札番號	第○○○號						
何々丸	鑑札番號	第○○○號						

何々散	何々湯	何々間	何々間	何々間	何々間	何々間	何々間
鑑札番號	鑑札番號	鑑札番號	鑑札番號	鑑札番號	鑑札番號	鑑札番號	鑑札番號
第○○○號	第○○○號	第○○○號	第○○○號	第○○○號	第○○○號	第○○○號	第○○○號
明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日	明治何年何月何日
明治何年何月何日燒失ニ付鑑札再渡	明治何年何月何日何府(縣)何郡(市)町(村)何字何町(村)何某ヨリ買受(讓受)	明治何年何月何日何府(縣)何郡(市)町(村)大字何町(村)何某へ買渡ス又ハ明治何年何月何日方名改名	明治何年何月何日改姓名ニ付鑑札番替	明治何年何月何日鑑札ニ付鑑札	明治何年何月何日住所移轉ニ付鑑札番替	明治何年何月何日住所移轉ニ付鑑札番替	明治何年何月何日住所移轉ニ付鑑札番替



(第三號様式)

明治二十六年一月一日以降  
船 税 元 帳

何市役所  
(何町村)役場

沿	船 號	年 月 日	新 規 (買 受) 番 號 札	船 號	年 月 日	新 規 (買 受) 番 號 札	住 所		
							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
沿	何々	明治何年何月何日	第〇〇〇號	何々			代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
革	何百何十石積						代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
事							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
故							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名

沿	船 號	年 月 日	新 規 (買 受) 番 號 札	船 號	年 月 日	新 規 (買 受) 番 號 札	住 所		
							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
沿							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
革							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
事							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名
故							代 納 人 姓 名	住 所	氏 名

記 載 例

一 沿革欄内ニハ買受讓受若クハ修繕ヲ加ヘ積石間數ニ變動ヲ生シ別紙ヘ移記セシト定繫場ヲ變更セシコト又ハ他ニ賣渡水火盜難破解決失等ノ顛末ヲ記入シ事故欄内ニハ簽札替替等ニ係ル事由ヲ記入スヘシ

一 日本形小船ハ船號ヲ記載セサルモ妨ケナシ



(第四號樣式)

明治二十六年一月一日以降  
車 稅 元 帳

何市役所  
(何町村)役場

車 種

烙 印 年 月 日

新規(買受)

明治何年何月何日

革浴

住 所  
氏 名

故事

住 所  
氏 名

烙 印 年 月 日

新規(買受)

革浴

故事

記載例

一記載方ハ船稅元帳ニ準スヘシ  
(第五號樣式)

明治二十六年一月一日以降

牛馬賣買免許稅元帳

何市役所  
(何町村)役場

住 所

氏 名

新

規

書

替

再

渡

事

鑑札番號

第 第 第  
〇 〇 〇  
〇 〇 〇  
〇 〇 〇  
號 號 號

年 月 日

明治何年何月何日  
明治何年何月何日  
明治何年何月何日

故



新 鑑札番號	規 書 替 再 渡	住 所	故 事		氏 名
			年 月 日	故 事	

新 鑑札番號	規 書 替 再 渡	住 所	故 事		氏 名
			年 月 日	故 事	

訓令第百十七號參照

訓令第百八十八號(明治二十二年七月五日)ハ勅令第三十三號ニ依リ徵收スヘキ國稅ハ市町村ニ於テ徵稅元帳ヲ備置ノ件ナリ

租稅外諸收入

●告示第七十九號 明治二十四年十一月十三日

明治二十三年三月三告示第三十六號租稅外諸收入金收納手續第四條左ノ通改正ス

第四條 現金收納ニ係ルモノハ納入告知書ニ指示シタル收入官吏へ其告知書ニ現金ヲ添へ直ニ納入シ領收證書ヲ受取ヘシ

●訓令第六十一號 明治二十四年四月四日

直稅分署長 間稅分署長  
直稅分署在勤 收入官吏

明治二十三年三月三訓令第五十號租稅外諸收入收納取扱順序ハ明治二十三年度限り廢止ス



訓令第六十二號 明治二十四年四月四日

直稅分署長 間稅分署長  
直稅分署在勤  
收入官吏

明治二十二年十一月十一日大藏省訓令第六十六號諸收入收納取扱順序ニ依リ該收納事務ヲ直稅分署長間稅分署長ニ委任候條左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

第一條 直稅分署長間稅分署長ハ左ニ掲クル科目ニ屬スル諸收入ヲ調定シ第一號書式ノ調定元帳ヲ設置整理スヘシ

歲入經常部

款	項	目
免許及手数料	手数料	
雜收入	懲罰及沒收金	
	罰金及科料	
	沒收金	
	土地臺帳原本手数料	
	國稅滯納處分費辨納金	
	間接國稅犯則者處分費辨納金	

明治二十四年五月十一日訓令第六十八號ヲ以テ沒收金ノテ追加

辨價金	大藏省主管
國稅滯納處分費辨納金	大藏省主管
間接國稅犯則者處分費辨納金	大藏省主管

明治廿八年十月七日訓令第九十三號ヲ以テ本條ニ但書追加

第二條 直稅分署長間稅分署長ハ前條調定ヲナシタルキハ直ニ確定額ヲ收入官吏ニ通牒シ第二號書式ノ調定額報告書ヲ製シテ收納取扱順序第五條ニ依リ之ヲ呈事ニ差出スヘシ

但調定額無之トキハ其旨該期日迄ニ報告スヘシ

第三條 收入官吏ハ前條通牒ヲ受ケタルキハ第三號書式ノ歲入監査簿ニ金額氏名等式ノ如ク記入シ其他ハ收納取扱順序第七條ニ依ルヘシ

第四條 收入官吏現金ヲ領收シタルキハ第三號書式ノ歲入監査簿ニ式ノ如ク納濟ノ年月日ヲ記入シ納人ニ對シ成規ノ領收證書ヲ交付シ現金ハ翌日迄ニ金庫へ拂込ムヘシ其他ハ收納取扱順序第十條ニ依ルヘシ

第五條 收入官吏ハ毎月收入シタル收入額ニ對スル金額人名及納濟月日ヲ翌月三日迄ニ直稅分署長ハ間稅分署長ニ通知スヘシ

第六條 直稅分署長間稅分署長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルキハ第一號書式ノ調定元帳ニ式ノ如ク納濟年月日ヲ記入シ第四號書式ノ明細書ヲ製シ三日以内ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ



明治二十五年  
十月七日訓令  
第九十三號ヲ  
以テ第九條ヲ  
挿入ス

第七條 収納取扱順序第十四條ノ報告書ニ添付スヘキ書類ノ内納期日後未納収入事由明細書ハ第五號書式ニ依リ調製シ欠損金明細書ハ適宜調製スヘシ

第八條 過誤納ヲ發見シ其拂戻ヲ要スルキハ金額事由納人ノ住所氏名ヲ記シ下戻方上申スヘシ

第九條 収納取扱順序第十四條ニ依リ報告スヘキモノ無之月ハ其旨該期日迄ニ報告スヘシ

(第一號書式) 歳入調定元帳

調定番號	徵收期限	年調月日定	納人住所姓名
明治何年何月何日	明治何年何月何日		
所屬年度	何々項	何々目	
何年度	何々	何々	
収入官吏官氏名			
富山縣			

一金 何程

明治何年何月何日納濟

但何々

明治二十五年  
十二月二十三日訓令  
第三百三十二號ヲ以テ  
正第十二號書式改

(第二號書式) 何月分調定額報告書

要摘	
----	--

(第三號書式) 収入官吏歳入監査簿 (用紙美濃紙)

調定番號	徵收期限	年調月日定	納人住所姓名
明治何年何月何日	明治何年何月何日		
所屬年度	何々項	何々目	
何年度	何々	何々	
縣知事宛			
歳入調定官 官氏名 ㊟			
何郡何村			
何 某			

右明治何年度經常(臨時)歳入何年何月分調定額書面ノ通有之候也

年月日

歳入調定官 官氏名 ㊟



何年度 何々々々 主管廳名

經常(臨時)

一金何程

明治何年何月何日領収済

但何々(此但書ハ歳入トナルヘキ事由ヲ記入スヘシ)

要摘

(第四號書式) 明治何年何月分歳入手數料明細書

一金何程

土地臺帳原本手數料

但此際本枚數何程

右之通候也

年月日

何分署長官氏

名印

縣知事宛

明治何年何月分歳入滞納處分費明細書

一金何程

内

區	別	數	量	單	個	徴収金額
---	---	---	---	---	---	------

督促令狀手數料

何

通

何

錢

何

圓

差押ニ關スル何々用紙

何

枚

何

錢

何

圓

滞納者(或ハ債主債償者)へ通

何

度

何

錢

何

圓

信ニ係ル書留郵便手數料

何

度

何

錢

何

圓

評 價 人 給 料

何

人

何

錢

何

圓

看 守 人 給 料

何

人

何

錢

何

圓

差 押 物 件 運 搬 費

何

度

何

錢

何

圓

差 押 物 件 置 物 敷 料

何

箇

所

錢

何

圓

物 件 賣 却 場 所 借 料

何

度

何

錢

何

圓

賣 却 物 件 新 聞 へ 公 告 料

何

度

何

錢

何

圓

(本文書式ヲ示シタルモノ、外實際収入ノモノハ其種類ニ應シ渾テ右ニ準シ記載スヘシ)

右之通候也

年 月 日

何分署長官氏

名印

縣知事宛

明治何年何月分歳入懲罰及沒収金并辨償金明細書

罰金及科料







明治二十四年  
五月一日訓令  
第九十九號ヲ  
以テ雜入ノ項  
以下追加

明治二十四年  
八月十四日訓  
令第百四十五  
號ヲ以テ同年  
九月ヨリ悉皆  
大藏省主管ト  
更在ス

明治二十四年  
五月一日訓令  
第九十九號ヲ  
以テ雜收入ノ  
以下追加

第七類 租稅外諸收入

歳入經常部		歳入臨時部	
款	項	目	
雜	收入	懲罰及沒收金	
		罰金及科料	大藏省主管 違警罪科料ハ此目ヲ以テ整理スヘシ
		沒收金	大藏省主管
		警察官吏拾得金	大藏省主管
		雜入	
官有物拂下代	物品拂下代	物品拂下代	漂着物公賣代ハ此目ヲ以テ整理スヘシ 大藏省主管

第二條 警察署長ハ前條調定ヲナシタルトキハ直ニ確定額ヲ收入官吏ニ通牒シ第二號書式ノ調定

明治二十五年  
十月七日訓令  
第九十四號ヲ  
以テ本條ニ但  
テ追加

額報告書ヲ製シテ収納取扱順序第五條ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ  
但調定額無之トキハ其旨該期日迄ニ報告スヘシ

第三條 收入官吏ハ前條通牒ヲ受ケタルキハ第三號書式ノ歳入監査簿ニ金額氏名等式ノ如ク記入シ其他ハ収納取扱順序第七條ニ依ルヘシ

第四條 收入官吏現金ヲ領収シタルキハ第二號書式ノ式歳入監査簿ニ式ノ如ク納濟ノ年月日ヲ記入シ納人ニ對シ成規ノ領收證書ヲ交付シ現金ハ翌日迄ニ金庫へ拂込ムヘシ其他ハ収納取扱順序第十條ニ依ルヘシ

第五條 收入官吏ハ毎月収入シタル収入額ニ對スル金額人名及納濟ノ月日ヲ翌月三日迄ニ警察署長ニ通知スヘシ

第六條 警察署長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルキハ第一號書式ノ調定元帳ニ式ノ如ク納濟年月日ヲ記入シ第四號書式ノ明細簿ヲ製シ三日以内ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第七條 収納取扱順序第十四條ノ報告書ニ添付スヘキ書類ノ内納期日後未納收入事由明細書ハ第五號書式ニ依リ調製シ欠損金明細書ハ適宜調製スヘシ

但該報告書ニハ別ニ第六號書式ノ收入金調書ヲ添付スヘシ

第八條 過誤納ヲ發見シ其拂戻ヲ要スルキハ金額事由納人ノ住所氏名ヲ記シ下辰方上申スヘシ

第七類 租稅外諸收入



明治二十五年十月七日訓令第九十四號ヲ以テ本條追加ナリ

第七類 租税外諸收入

第九條 収納取扱順序第十四條ニ依リ報告スヘキモノ無之月ハ其旨該期日迄ニ報告スヘシ  
(第一號書式) 歳入調定元帳 (用紙美濃紙)

明治二十五年十二月二十二日訓令第三百三十三號ヲ以テ改正

要摘  
(第二號書式) 何月分調定額報告書

徴収期限	調定年月日	何郡何村
明治何年何月何日	明治何年何月何日	何 某
所属年度	款 項 目	納 住 人 姓 名
何年何月何日	何々何々何々	
収入官吏官氏名	主管廳及取扱廳名	

經常(臨時)  
一金何程  
但何々  
〔徴収スヘキ金額ノ理由ヲ摘記スヘシ〕  
〔此ノ年月日ハ収入官吏ヨリ毎月収入額ノ通知ヲ受クルキ記入ス〕  
明治何年何月何日  
何々金庫へ納濟

科 目	前月迄調定額	本月分調定額	累 計
何々(款)	円	円	円
何々(項)			
何々(目)			
何々(款)			
何々(項)			
何々(目)			
合計			

右明治何年度經常(臨時)歳入何年何月分調定額書面ノ通有之候也  
年 月 日 歳入調定官 官 氏 名 印  
縣知事宛 (第三號書式) 収入官吏歳入監査簿 (用紙美濃紙)

徴収期限 年調 月 日 定  
明治何年何月何日 明治何年何月何日  
何郡何村  
何 某

第七類 租税外諸收入



何年度 何々々々 主管 廳名

經常(臨時)

一金 何程

明治何年何月何日領収済

但 何々

(徴収スヘキ金額ノ事由ヲ摘記スヘシ)

要摘

(第四號書式)

何年何月中途警罪科料金明細書

一金 何程

科 料

内

類 別	金	員	事	由
刑法違警罪科料		円	何	人
湯屋取締規則			何	人
煙草 稅 則			何	人
街路取締規則			何	人
富山縣違警罪科料			何	人

何々々 沒収金 何 人

一金 何程

内

類 別	金	員	事	由
醬油稅則違犯		円	何	人
何々々			何	人

合計金何程

右之通候也

年 月 日

縣知事宛

警察署長 又ハ分署長

官氏

名 印

何年何月中沒収金明細書

一金 何程

警察官吏拾得金

内

金 員 種 類	拾得年月日	沒収年月日	拾得者官氏名
金 何 程 銅貨(紙幣)	何年何月何日	何年何月何日	警 部 何 某







右之通候也

年月日

收入官吏官氏

名

縣知事宛

(第六號書式) 何年度

何年何月分収入金調書

科目	前月收入未済額	本月調定済額	本月収入済額	収入未済額	不納缺損額
何々々	二〇〇〇	一、一五〇	一、一六〇	九〇	〇
何々々	二八〇〇	三三〇〇	三五三〇	五〇〇	五〇〇
何々々	〇	二〇〇	三〇〇	〇	〇
何々々	〇	一〇〇	〇	一〇〇	〇
合計	二二八〇〇	一、四九三〇〇	一、六一六〇〇	一〇五〇〇	五〇〇

(前月收入未済額ハ前月迄ノ収入未済額ノ累計ヲ掲クヘシ)

不納缺損ニナリタル事由

一金何圓

前月金庫へ拂込未済残高

一金何圓

本月分収入済額

小以金何圓  
一金何圓  
差引金何圓  
右之通ニ有之候也

本月中領収証檢定及現金金庫へ拂込高  
翌月へ越高

收入官吏

官氏 名

訓 第八六號

明治二十四年九月二十五日

石動警察署長

同署在勤

收入官吏

租稅外収入現金拂込方之儀ハ本年訓令第六十四號ノ趣モ有之候處自今其限ニ限リ二十二年十月大藏省令第十三號第十六條ノ制限ニ從ヒ取纏メ金庫へ拂込ムヘキ儘ト心得ヘシ

右訓令ス

訓令第四百四號

明治二十四年五月十五日

警察署長

富山婦負ノ兩署

警察署在勤

富山婦負ノ兩署

收入官吏

郡役所在勤

上野川婦負ノ兩郡役所ヲ除ク

收入官吏

備品

本年三訓令第卅四號租稅外諸収入取扱ニ要スル物品取扱規程第一項中備品及消耗品左ノ通改正ス



收入檢定簿(警察署長用)	收入官吏収入簿(警察署及郡役所)	現金出納簿(同上)
歳入調定元帳用紙(警察署長用)	納入告知書用紙(同上)	歳入監査簿用紙(警察署及郡役所)
收入報告書用紙(警察署及郡役所)	現金拂込書用紙(同上)	領收證書用紙(同上)
●訓令第百五號	明治廿四年五月十五日	直稅分署長
明治二十三年十一月	達甲第四號租稅外諸收入取扱ニ要スル物品取扱規程第一項中備品及消耗品左ノ	通改正ス
備品	收入官吏収入簿(收入官吏用)	現金出納簿(同上)
歳入調定元帳用紙(直稅及間稅)	納入告知書用紙(同上)	歳入監査簿用紙(收入官吏用)
收入報告書用紙(收入官吏用)	現金拂込書用紙(同上)	領收證書用紙(同上)
●訓令第百七號	明治二十四年五月十五日	郡役所在勤
明治二十三年三月	訓令第四十九號ヲ廢ス	収入官吏
▲訓令第百七號參照		

明治二十五年  
十月二十八日  
訓令第百三號  
中及科目表  
ハ追加

明治二十四年  
十一月二十日  
訓令第百六號  
管轄ノ欄中悉  
ト皆大藏省  
更正ス

明治二十五年  
十月二十八日  
訓令第百三號  
加ヲ以テ  
二目迄

明治二十三年三月	訓令第四十九號ハ租稅外諸收入官有物貸下料拂下代免許及手数料辨償金返納	金収納取扱順序ノ件ナリ
●訓令第百八號	明治二十四年五月十五日	郡役所在勤
明治二十二年十一月	大藏省訓令第六十六號諸收入収納取扱順序ニ依リ該收納事務左ノ手續ニ依リ取	扱フヘシ
第一條	知事又ハ郡長(委任ニ係ルモノニ限ル)ハ左ニ掲クル科目ニ属スル諸收入ヲ調定シ收納取扱順序第六	條ニ依リ成規ノ納入告知書ヲ收入官吏ニ送付ス
歳入經常部		
款	項	目
免許及手数料	免許料	米商會所仲買人認許料
		職獵免許料
		遊獵免許料
		有鑲質坑區稅
		同
		同
		同
		大藏省主管
		主管應名







		舊	藩	貸	大藏省主管
		勸	業	貸	同
		雜	種	貸	同

第二條 收入官吏ハ前條ノ納入告知書ヲ受ケタルトキハ第一號書式ノ歳入監査簿ニ金額氏名等式ノ如ク記入シ其他ハ收納取扱順序第七條ニ依ルヘシ

第三條 收入官吏現金ヲ領收シタルトキハ第一號書式ノ歳入監査簿ニ式ノ如ク納濟ノ年月日ヲ記入シ納人ニ對シ成規ノ領收證書ヲ交付シ現金ハ翌日迄ニ金庫へ拂込ムヘシ其他ハ收納取扱順序第十條ニ依ルヘシ

第四條 收入官吏前條拂込金ニ對シ金庫ノ領收證ヲ得ルトキハ收納取扱順序第十一條ニ依リ第二號書式ノ送付書ヲ添へ差出スヘシ

第五條 收納取扱順序第十四條ニ依リ收入官吏ヨリ毎月差出スヘキ收入報告書ニ添付ヲ要スル書類ノ内納期日細別表ハ第三號書式納期日後未納收入事由明細書ハ第四號書式ニ依リ調製シ欠損金明細書ハ適宜調製スヘシ

第六條 收納取扱順序第十四條ニ依リ報告スヘキモノ無之月ハ其旨該期日迄ニ報告スヘシ  
(第一號書式)

明治二十五年  
十月七日訓令  
第九十五號ヲ  
以テ本條追加

收入官吏歳入監査簿

(用紙美濃紙)

告知書番號	徵	収	期	限	告知書發行年月日	何郡何村
第何號	明治何年何月何日	明治何年何月何日				何 某
所屬年度	款	項	目	納人住所姓名		
何年度	何々	何々	何々	主	管	應
				名		

一金 何程

但何々 (此但書ハ告知書ノ但書通り記入スヘシ)

明治何年何月何日  
何々金庫へ納濟

(第二號書式)

記

(主管廳毎ニ  
調製スヘシ)

一金 何程

此現金拂込領收證書何葉

右及進達候也







明治二十五年十月二十八日訓令第百二號  
參照スヘシ

一前項ニ抵觸スル従前ノ指令等ハ取消ス

◎訓令第七十五號 明治二十五年七月二十二日 郡役 所上新川婦 貸ヲ除ク

明治二十二年十一月十一日大藏省訓令第六十六號諸收入収納取扱順序ニ依リ入札及契約保證金ノ没収ニ係ル歳入ノ測定事務ヲ郡長ニ委任候條左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

第一條 左ノ科目ニ依リ收入ヲ測定シ第一號書式ニ依リ測定元帳ヲ設置整理スヘシ

歳入經常部

款	項	目	主管廳名
雑収入	辨償金	違約金	大藏省

明治二十五年十月七日訓令第九十六號ヲ以テ本條ニ但テ追加

第二條 前條ノ測定ヲ爲シタルトキハ直ニ確定額ヲ收入官吏ニ通牒シ第二號書式ニ依リ測定額報告書ヲ製シ収納取扱順序第五條ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

但測定額無之トキハ其旨該期日迄ニ報告スヘシ

第三條 収入官吏ノ毎月収入シタル金額等ノ通知ヲ受ケタルトキハ測定元帳ニ式ノ如ク記入シ第二號書式ノ明細書ヲ製シ三日以内ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

(第一號書式) (用紙八寸紙)

歳入測定元帳

明治二十五年十二月二十三日訓令第百三十四號ヲ以テ改

徴収期限	明治何年何月何日	明治何年何月何日	納人住所姓名	何郡何村 何某
	何々	何々		
所屬年度	何々	何々	主管廳名	
何年度	何々	何々		
収入官吏官氏名				
摘要	<p>但何々(徴収スヘキ金額ノ理由ヲ摘記スヘシ)</p> <p>何々金庫へ納済</p> <p>明治何年何月何日</p> <p>(此ノ年月日ハ収入官吏ヨリ毎月収入額ノ通知ヲ受クルルキ記入ス)</p>			
(第二號書式) 何月分測定額報告書	前月迄測定額	本月分測定額	累計	計
何々(項)				
何々(款)				



何々(目)							
何々(款)							
何々(項)							
何々(目)							
合計							

右明治何年度經常(臨時)歳入何年何月分調定額書面ノ通行之候也

年 月 日

歳入調定官 官氏 名印

縣知事宛

(第三號書式) (用紙八寸系紙)

何月分没収金明細書

一金何程

内譯

金 員	事 由	没収年月日	元 納 人 名
何 程	何々保證金違約ニ依リ没収	年 月 日	何都市町村等地方 何 某

右之通候也

歳入調定官

官氏 名印

年 月 日

富山縣知事宛

●訓令 第二百二號

明治二十五年十月二十八日

郡 役

所 上新川縣負ノ兩郡役所ヲ除ク

明治二十二年十一月十一日

大藏省訓令第六十六號諸收入收納取扱順序ニ依リ左ノ科目ニ係ル歳入ノ調定事務ヲ郡長ニ委任候條本年七月訓令第七十五號ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

歳入經常部

款	項	目	主 管 廳 名
免許及手数料	免 許 料	職 權 免 許 料	大 藏 省
		遊 獵 免 許 料	同

●訓令 第七十二號

明治二十四年四月十日

警察署長

直稅分署長

問稅分署長

収入官吏

廿三年度以降ノ歳入金ニシテ徵稅令書ヲ發スヘキヲ誤テ納入告知書ヲ發シ又ハ納入告知書ヲ發スヘキヲ誤テ徵稅令書ヲ發シ若クハ徵稅令書納入告知書拂込書等ニ誤記セシ爲メ租稅ヲ租稅外ニ租



稅外ヲ租稅ニ課納セシヨトヲ發見セシトキハ本年一月訓令第七號ニ據リ訂正方取計フヘシ

●訓令第三十號 明治二十五年三月二十五日 警察署 收入官吏

出納官吏現出納簿ノ儀從來一人ニシテ數職ヲ兼タル者ハ各職務並ニ各主管廳毎ニ各別ニ調製ヲ要シ候處來ル二十五年度ヨリ右區別方ヲ廢シ一人一冊ヲ備ヘ之ニ記入整理スヘキ旨今般其筋ヨリ達セラレ候條此旨心得ヘシ

地方稅

●縣令第九號 明治二十五年一月二十二日

明治二十四年一月縣令第三號縣稅徵收法施行細則樣式中縣會ノ決議ヲ經テ何期トアル左傍ニ(分)ヲ插入三備考ヲ削リ明治二十五年度所屬ノ收入ヨリ之ヲ施行ス

●縣令第十四號 明治二十五年二月二十六日

明治二十一年一月縣令第十二號地方稅徵收期限第一條及第三條中第一期左ノ通改正シ明治二十五年度所屬ノ徵收ヨリ施行ス

第一期 前年度三月ノ二十日ヨリ該年度四月五日限

●訓令第六十七號 明治二十四年四月十日 郡市役所 町村役場

明治二十三年五月訓令第八十四號地方稅及市稅町村稅滯納處分取扱方第四條中市長ノ文字ハ削除ス

●訓令第八十二號 明治二十四年四月十七日 郡市役所

地方稅ニシテ納期內完納セサル者アルキハ左ノ書式ニ據リ每納期後十日以内ニ報告スヘシ

(書式) 明治何年度第何期地方稅未納人名報告表

稅目	督促令狀發付月日	町村名(市ハ大字ヲ記スヘシ)	滯納者氏名

右報告候也

明治何年何月何日

知事宛

郡市長 氏 名 印

●訓令第一百十九號 明治二十四年六月十二日 縣稅出納吏 縣廳及市ノ出納吏ヲ除ク

市役所 町村役場

府縣稅徵收法第一條ニ依リ市町村ニ交付スヘキ徵收費用金ハ左ノ各項ニ依リ請求スヘシ

一 一个年度ヲ左ノ四期ニ分ナ之ヲ請求スルモノトス

但其年度歲入ニシテ前年度三月中徵収シタル金額アルトキハ第一期徵収額ニ併算スヘシ

明治二十五年四月一日訓令第三十四號ヲ以テ第一項ニ但書追加



- 第一期 四月ヨリ 六月ニ至ル
- 第二期 七月ヨリ 九月ニ至ル
- 第三期 十月ヨリ 十二月ニ至ル
- 第四期 一月ヨリ 三月ニ至ル

一市長ハ第一號様式ニ據リ每期後三日以内ニ於テ之ヲ請求スヘシ  
 一町村長ハ第一號様式ニ據リ郡部ト郡市連帶トヲ分チ每期後三日以内ニ於テ請求書ヲ作り其郡縣  
 税出納吏ニ送付スヘシ

明治二十五年  
 四月十五日訓令  
 第四十四號  
 第五項中更  
 正

一翌年度四月ニ於テ前年度ニ係ル徴収金アルトキハ市町村長ハ五月三日迄ニ前各項ニ依リ請求ス  
 ヘシ  
 一郡ノ出納吏町村長ヨリ請求書ヲ受ケタルトキハ其徴収金額ヲ照査シ相違ナキトキハ毎通ニ其相  
 違ナキヲ保證シ毎郡取總メ每期後十日以内ニ前項收入ニ係ルモノハ五月十日限り之ヲ本廳ニ送  
 付スヘシ

一市町村長現並ノ交付ヲ受ケタルトキハ其收入役ヲシテ二日以内ニ第二號様式ノ領收證書ヲ差出  
 サシムヘシ

(第一號)

明治何年度地方税徴収費用金第何期分請求書

税目	徴収額	誤納還付額	差引徴収額	徴収額百分ノ四
營業税	円	円	円	円
雜種税				
戸數割				
合計				

右ハ明治何年何月ヨリ何月ニ至ル地方税徴収費用金御下附相成度候也

富山縣何郡何町村長

何 某印

知事宛

(町村長請求書ニ限ル例)

前記徴収金額相違無之依テ保證候也

年 號 月 日

何郡縣税出納吏

官 氏

名 印



備考

- 一 徵收額ハ其三個月間ニ於テ徵收シタル總額ヲ各款ニ區分記入スヘシ
- 一 誤納還付額ハ其三個月間ニ於テ還付ヲ受ケタル額ヲ前項ニ倣ヒ記入スヘシ
- 一 差引徵收額ハ徵收額ヨリ誤納還付金ヲ差引タル額ヲ記入スヘシ
- 一 交付金即チ徵收額百分ノ四ハ差引徵收額合計ニ對シ計算記入スヘシ

(第二號)

領收證

市町村長檢印

○一金 何 程

但當市(町村)ニ於テ何年度地方稅明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間徵收費用トシテ徵收高何圓ノ百分ノ四御下付金

右領收候也

年 號 月 日

何郡何町(村) 收入役

何 某 印

中央出納吏宛

訓令第五百五十號

明治二十四年八月二十八日

郡市役所 町村役場

縣稅誤納ニ依リ納換ヲ要スル場合ハ左ノ手續ニ依リ取扱フ可シ

一 町村長ニ於テ稅目誤記等ノ爲メ稅金ノ納換ヲ要スルモノアルトキハ其事由及金額稅目稅期并ニ納付月日等ヲ詳記シ所轄郡長ニ申立ツヘシ

一 郡長ニ於テ前項納換ノ申立ヲ受ケ正當ト認メタルトキ及町村長ヨリ滯納報告以後ノ徵收金ニ對シ納換ヲ要スルトキハ第一號第二號書式ニ依リ當廳ニ報告シ即時其金額稅目稅期及納付月日等ヲ當該出納吏ニ通達スヘシ

一 市長ニ於テ納換ヲ要スルモノアルトキハ前項ニ準シ取扱フヘシ

一 出納吏ニ於テ納換ノ通達ヲ受ケタルトキハ徵稅簿及收入簿ニ事由ヲ摘記シ其拂出ニ係ルモノハ朱書シ收入ニ係ルモノハ墨書シ之カ更正ヲ爲スヘシ

一 出納吏前項納換ヲ爲シタル月ノ收入計算表ハ收入濟額本月分欄内ニ於テ其更正額ヲ傍書(拂出ルモノ)ニ備考ニ事由ヲ摘記スヘシ

但翌月ニ至レハ前月迄累計ニ於テ其更正額ヲ差引記入スルモノトス

一 賦金及年度後追徵金モ本令ニ依リ取扱フヘシ

(第一號書式)



何 號

明治何年度縣稅誤納換報告書

誤納稅目	更正稅目	稅 期	納付月日	金 額	事 由
賣藥受賣	賣藥行商	前 期	七月十日	金 壹 圓	何々事由ニヨリ納換
職 業 三等地	職 工 三等地	後 期	七月二十日	金 五 圓	何々ニヨリ納換

右報告候也

年 月 日

知 事 宛

何 郡 (市) 長 印

(第二號書式)

何 號

明治何年度縣稅稅期誤記更正報告書

稅 目	誤納稅期	更正稅期	納付月日	金 額	事 由
製 造 五 等 所	前 期	後 期	七月十日	金 貳 圓 五 拾 錢	何々事由ニヨリ更正
藝 妓	六 月 分	七 月 分	七月二十日	金 四 圓	何々ニヨリ更正

右報告候也

年 月 日

知 事 宛

何 郡 (市) 長 印

(備考) 年度違ニ依リ更正ヲ要スルモノハ本表ニ準シ差出スヘシ

訓令第十四號 明治二十五年二月二十六日 郡市役所 町村役場

明治二十三年一訓令第六號地方稅收入豫算及營業稅雜種稅課目課額取扱方第五條中理髮人ノ下

「漁業蠶網」ノ四字ヲ追加シ明治二十五年度所屬ノ地方稅ヨリ之ヲ施行ス

訓令第十八號 明治二十五年三月四日 郡市役所

地方稅滯納處分報告表明治二十四年度分ヨリ左ノ様式ニ倣ヒ納製シ翌年度四月二十日迄ニ差出スヘシ

地方稅滯納處分報告表

其一 (一) 内ハ朱書

納期限	應稅收納	督促令	財產差	財產差	財產賣却	財產賣却	財產賣却	處分
ヲ過キ	順序第八	狀ヲ發	命シタル	賣却公告	行シテ	行シテ	行シテ	第九條
完納モ	條ノ報告	シタル	押命シタル	手以前ニ完	ノ公告ヲ	行シテ	行シテ	第十條
ナルモ	シケレバ	モシタル	納付シタル	納付シタル	ノ公告ヲ	行シテ	行シテ	第十一條
ノモ	シケレバ	モシタル	納付シタル	納付シタル	ノ公告ヲ	行シテ	行シテ	第十二條







四 物件欄内へハ課税品ト雜件トヲ區別シ土地ハ段別家屋倉庫ハ棟數公債證書株券手形ノ類ハ額面ノ金額、債主權ハ其金額、船車ハ艘數輛數、其他ノ雜件ハ石、貫目、箇數等ニ區別シ其員數ヲ記載スヘシ

五 解除物件ノ欄へハ財産差押後賣却公告着手以前ニ完納セシモノニ對スル物件ヲ記載スヘシ

六 公告後ノ解除物件ノ欄へハ處分法第九條ニヨリ完納又ハ代納シタルモノニ對スル物件ヲ記載スヘシ

七 裁判所へ照會シテ徵收シタル金額ノ欄へハ處分法第十五條ニ據リ裁判所へ照會シテ徵收シタル金額ヲ記載スヘシ

八 滞納處分費中財産差押前ニ係ル金額未書ヲ以テ相當欄内ニ内書スヘシ

九 官損税金欄内へハ處分法第五條ニ係ル金額ヲモ合算記載スヘシ

十 市役所ニ於テハ第一表第二欄ハ記載ヲ要セス

訓令 第一號 明治二十五年一月八日 郡役所 警察署 縣立學校

地方税雜收入収納規程ニ依リ收入命令者ニ於テ收入ヲ測定スルトキハ不用物品拂下代ニ限り左ノ書式ニ依リ其品目員數等ヲ詳記シタル明細書ヲ主任者ニ添付セシム可シ

但二十四年度ニ屬スル分ニテ出納吏ニ於テ既ニ測定書進達済ニ係ル分ハ更ニ明細書ヲ調整シ此

際取經メ差出ス可シ

不用物品明細書

品目	員數	代價	拂下決定ノ月日	買受人名		
					何品	何程
何品	何	金	年	月	日	何町村番地 姓
何品	何	金	年	月	日	
何品	何	金	年	月	日	
(是ハ數品合シテ拂下タルノ例ナリ)						
計	何	程金	何	程		

右之通り候也

何郡役所(學校)(警察署)

年月日 (主任者ナリ) 官姓 名印

訓令第二十三號 明治二十五年三月十八日 郡市役所 町村役場

東京府郡區役所ニ於テハ他ノ官衙ヨリ地方税市町村税徵收ノ囑托ヲ受クルトキハ便宜其徵收シタル税金ノ内ヨリ税金送付ニ關スル爲換料ヲ控除スルコトニ相定候趣同府ヨリ通牒有之候條豫テ此



旨ヲ心得ヘシ

●訓令第五十五號 明治二十五年五月二十七日

郡市役所

地方稅滯納處分ニ就キ國稅滯納處分法第十一條ニ依リ囑託ヲ受ケタル徵收稅金ノ送付ニ係ル爲換手費料書留郵便稅ハ其徵收金ノ内ヨリ控除スヘシ但囑託シタル場合ニ在テハ各其所屬ノ經費ヨリ右爲換料等ヲ支出シ徵收金額ニ充ツシ稅並ニ收納スヘシ

●告示第二十二號 明治二十四年四月十日

縣稅出納所及其出張所ノ位置左ノ通相定ム

富山縣々稅出納所

富山市大字富山袋町十九番地

富山縣々稅出納所魚津出張所

下新川郡魚津町大字魚津大町九十九番地

富山縣々稅出納所高岡出張所

高岡市大字高岡守山町六十八番地

富山縣々稅出納所出町出張所

礪波郡出町大字杉木新村二百八十五番地

●告示第七十一號 明治二十四年十月二日

明治二十四年四月告示第二十四號ヲ以テ本縣縣稅出納所及其出張所ニ於テ取扱フヘキ地方稅金ノ出納時間相定メ置候處自今左ノ通改正ス

但臨時至急ノ仕拂ヲ要スルトキ又ハ納期日ノ定メアル收入金ハ此限ニアラス

一 每年四月二十日ヨリ七月十日迄

自午前八時  
至午後三時

一 每年七月十一日ヨリ九月十日迄

自午前八時  
至正午十二時

一 每年九月十一日ヨリ四月十九日迄

自午前八時  
至午後四時

但土曜日ハ正午十二時限リトス

●達乙第十五號 明治二十四年四月一日

富山縣々稅出納所

縣稅徵收法施行細則縣稅收納順序地方會計規則地方稅雜收入收納規程別冊下附條右ニ據リ取扱フヘシ(別冊ハ明治二十四年一月縣令第三號、同年三月訓令第四十四號、同年同月訓令第四十五號)フヘシ(同年同月訓令第四十六號ト同文ニ付略之)

●達乙第二十二號 明治二十四年四月二十日

縣稅出納所

地方稅徵收金納付ニ係ル分ハ各郡役所ニ便宜取扱人ヲ派遣セシメ取扱ヲ爲サシム可シ

●訓令第三百三十八號 明治二十四年七月三十一日 郡役所 警察署 縣立學校

地方稅雜收入收入證明方左ノ通心得ヘシ

第一條 收入命令者ハ出納吏ノ送付ニ係ル收入計算表并證憑書類ニ就キ其事故ヲ調査シ及記簿ニ照合シ相違ナキトキハ第一號書式ニ依リ保證書ヲ添付スヘシ

第二條 出納吏ハ調定濟額及收入金ナキトキハ其月分ノ計算表ハ提出スルニ及ハスト雖モ其調定又ハ收入ナキトキテ證明シ其證明書ハ命令者ヲ經テ翌月五日迄ニ本廳ニ差出スヘシ



第三條 出納吏ニ於テ現金ヲ收納シタルトキハ第二號書式ニ依リ事由細別表ヲ作り收入計算表ニ添付スヘシ

(第一號書式)

保證書

雜收入出納吏官氏名ノ證明ニ係ル明治何年度何月分收入計算表ヲ(現金出納簿)及收入簿ニ對照シ其他ノ事項ヲ調査セシ査一モ相違ノ虞ナシ依テ其確實ヲ認ム  
右保證候也

收入命令者

明治 年 月 日

官 氏

名 印

富山縣知事宛

(第二號書式)

明治何年何月中地方税雜收入現金收納事由細別表

一金 何 程

内 譯

調定濟金額	納 期	日	科目(節ナキ片ハ目)	領 収 月 日	姓 名
-------	-----	---	------------	---------	-----

金 何 程	何 月 何 日	何	々	何 月 何 日	何	某
金 何 程	何 月 何 日	何	々	何 月 何 日	何	某
金 何 程	何 月 何 日	何	々	何 月 何 日	何	某
金 何 程	何 月 何 日	何	々	何 月 何 日	何	某

右之通候也

明治 年 月 日

雜收入出納吏 官 氏

名 印

(備考)

納期日迄ニ納付セサルモノアルトキハ領收月日ノ欄へ朱書ヲ以テ其事由ヲ記載スヘシ

右未納ノ向ハ翌月ノ細別表ニ併テ再記シ領收月日記入等ハ前項ニ同シ

達乙第二十七號 明治二十四年五月二日

縣稅出納所

本廳雜收入出納吏ノ納付ニ係ル現金ヲ領收シタルトキハ即日更正拂ノ手續ニ準シ直ニ中央出納吏ノ交付金トシテ取扱フヘシ

訓令第四百二十三號

明治二十四年八月十四日

郡役所

警察署

縣立學校

地方税經濟ニ屬スル生産又ハ製造ノ物品其他不用ニ屬スル物品ヲ賣却シタルトキハ其代金ヲ縣稅出納所又ハ出納吏ニ領收シタル領收證書ヲ主任者ニ於テ檢閲ヲ了シ該物品ヲ買受人ニ引渡スヘシ



但諸官衙ニ直接賣渡スモノハ本文ノ限リニアラス

訓令第七十號 明治二十四年十二月十一日

郡市役所

地方税經濟ニ屬スル官有地内ニ在ル枯倒障碍木ノ賣却ハ競争入札ニ付スモ買受人ナキカ又ハ像定價格ニ達セス該入札ヲ取消シタル場合ニ於テ該像定價格以上ノ代價ヲ以テ拂下ヲ望ム者アルトキハ隨意ノ契約ヲ以テ之ヲ賣却スルコトヲ得

●市町村税

訓令第五號 明治二十五年一月十五日

郡市役所 町村役場

明治二十四年一月訓令第一號市町村歳入出豫算記載例中左ノ通追加削除ス

一歳出豫算表記載例中第三款ノ二橋梁費附記中「其所字何橋梁替費何圓」ノ拾字ヲ削除ス

一同上第四款第一項中校長給料ノ目ヲ削除シ教員給料ヲ一トシ以下順次繰上ケ雜給ノ次ニ左ノ目ヲ追加ス

四 教員恩給基金納金

正教員給料何ノ百圓分ノ一

一同上教員給料ノ附記訓導アルヲ正教員トシ授業生トアルヲ准教員ト更正ス

一同上第八款勸業費ノ次ニ第九款財産費ノ一款ヲ新設シ之ヲ雜給修繕費雜費ノ三目ニ分別ス諸税及諸負擔以下各款順次繰下ク

一同上第十二款ノ四土地買入費ノ目ヲ削除ス

一同上臨時費ノ第一款ヲ役場費ト更正シ同款ノ三ヲ削除シ第二款土木費ノ一款ヲ新設シ之ヲ道路費橋梁費堤防費用悪水路費ノ四目ニ分別ス此第二款ニハ道路ノ開鑿改修橋梁ノ新設架替堤防ノ新築用悪水路ノ新鑿變換ノ如キ凡テ經常ノ歳出ニ屬セサルモノヲ記載スヘシ

訓令第五十六號 明治二十五年六月三日

郡市役所 町村役場

他府縣市役所若クハ町村役場ヨリ市町村滞納處分ノ囑託ヲ受ケタルトキハ其徵收シタル税金ヨリ税金送付ニ要スル爲替手數料留郵便税ヲ控除シ其領收書ヲ添へ殘金ヲ回付スヘシ







一 印紙越過ハ一月一日及ヒ七月一日ノ兩度現在高ヲ調査記帳スヘシ  
一本帳ニハ相當印紙ヲ貼用ス可シ

●縣令 第十八號 明治二十五年三月二十五日

明治二十五年二月大藏省令第三號第四號ニ據リ登記印紙ヲ以テ納ムヘキ手数料印紙ノ貼用方ハ第一號第二號様式ニ倣ヒ左ノ願書又ハ請求書ニ貼用スヘシ

- 一 煙草營業願
- 二 煙草仕入願
- 三 煙草出賣願
- 四 菓子營業願
- 五 菓子仕入願
- 六 菓子出賣願
- 七 削除
- 八 以上各種鑑札再渡又ハ書換願
- 九 牛馬賣買免許鑑札再渡又ハ書換願
- 十 土地臺帳廢本請求書

明治二十五年四月八日縣令  
第四十五號及  
第七項及  
第一號凡例第  
二項ヲ削除ス

(第一號) (用紙八寸對紙)

何々願

印紙

印紙

一何々

此鑑札手数料金何程

一、  
、、、、、、、、、、、  
右何々相願候也

年月日

縣郡(市)町村大字町村番地

氏名印

市町村長

氏名印

知事宛

凡例

明治二十五年四月八日縣令  
第四十五號及  
第七項及  
第一號凡例第  
二項ヲ削除ス



- 一 煙草營業願菓子營業願及牛馬賣買鑑札願等ハ其規則規則ニ據リ差出スヘキ願書ハ本様式ノ如ク印紙ヲ貼用スヘシ
- 一 印紙ヲ貼用セサル願書ヲ出シ許可ヲ得タル時本様式ニ倣ヒ鑑札請求書ヘ印紙ヲ貼用シ差出モ妨ケナシ
- 一 煙草又ハ菓子營業ノ製造卸賣若クハ仕入ヲ併記シ願出ルモノハ各種目ニ依リ鑑札手数料ヲ分記スヘシ

(第二號) (用紙八寸罫紙)

土地臺帳謄本請求書

印紙

印紙

一 總筆數何程

此土地臺帳謄本手数料金何程

内譯

國郡(市)町村大字町村地内

字	番	字	番	字	番	字	番	字	番	字	番	字	番
號	番	號	番	號	番	號	番	號	番	號	番	號	番

何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々
番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番

右土地臺帳謄本下付相成度候也

縣郡(市)町村大字町村番地

年月日

土地所有者 氏名 印

知事宛

凡例

- 一本様式ハ土地臺帳規則施行細則ノ請求書式トス
- 一本書ハ地番號順ニ記載シ大字二箇所以上ニ涉ルモノハ書式ニ倣ヒ大字限リニ區分連載スルコトヲ得此場合ニ於テハ各大字ノ筆數ヲ併算總筆數ト爲スヘシ
- 一 際本請求者ハ先ツ請求書ノミヲ差出シ登記印紙ハ主任官ノ通知ヲ得タル後貼用消印シテ差出スモ妨ケナシ
- 一本請求書ハ直ニ所轄直稅分署ヘ差出スヘシ

訓令第三十一號 明治二十五年三月二十五日

郡市役所

本年二月大藏省令第四號ニ據リ登記印紙ヲ以テ納ムヘキ統繳免狀再渡手数料印紙ノ貼用方ハ第一號



様式ニ依ヒ該願書ニ貼用セシメ其免狀再渡下付高等ハ來ルニ二十五年度分ヨリ第二號様式ニ依リ翌年四月二十日限り報告スヘシ

(第一號) (用紙八寸罫紙)

何々願

印紙

印紙

一何々

此免狀手数料金何程

右何々相願候也

年月日

縣郡(市)町村大字町村浴地

氏名印

町村長

氏名印

郡市長宛

(第二號) (用紙美濃紙)

明治何年度		何郡市役所	
統繼免狀再渡及曹換 下付高報告表			
摘要	枚數	料金額 円錢厘	備考
遊獵免狀 自四月至六月再渡 ク——曹換			
自七月至十二月再渡 ク——曹換			
自一月至三月再渡 ク——曹換			
計			
計			
合計			
職 續 免 狀 (以下上例ニ依ッ)			
何郡市長氏名印		年月日	
知事宛			



●訓令第七十九號 明治二十五年八月五日 間稅分署  
 明治二十三年<sup>十二</sup>月 訓令第六十三號印紙類賣捌人定員中高岡分署所轄内「二十五人」トアルヲ「二十六人」ト改ム

●煙草

●縣令第三十號 明治二十四年五月八日  
 明治二十二年<sup>一</sup>月 縣令第十二號煙草稅則必得第十條第十五條第十六條刪除ス  
 ●縣令第三十一號 明治二十四年五月八日  
 明治二十二年<sup>八</sup>月 縣令第八十四號煙草耕作人心得廢止ス

●酒類

●縣令第四十七號 明治二十四年九月十八日  
 明治二十三年<sup>九</sup>月 縣令第四十三號酒造營業人心得中左ノ通追加更正ス  
 第四項ノ次へ左ノ二項ヲ加へ以下順次繰下ク  
 第五項 保證物ヲ徵シタル營業人ニシテ該保證物ヲ翌年度免許ノ造石高ニ對スル保證物ニ補充セントスルモノ又ハ保證人ヲ繼續スルトキハ前年度保證ニ對スル義務ニ就テモ責任ヲ負擔スヘキ旨ヲ保證書ニ補足スヘシ

第六項 酒造廢業セントスルモノハ其事故ヲ記載セル書面ニ鑑札ヲ添付シ届出ツヘシ  
 第六號釀造方法書式中

清酒一仕舞釀造法

符號	區分	酒甑	初添	中添	留	計	醪		酒	
							見込石高	白米ヨリ垂歩合	見込石高	糶ヨリ垂歩合
甲	蒸米	何斗	何斗	何斗	何斗	何石何斗	何石何斗	何割何歩	何石何斗	何割何歩
	麴米	何斗	何斗	何斗	何斗	何厘				
	仕込水	何斗	何斗	何斗	何斗	何厘				
乙	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	、	、	、	、	、	、				
	、	、	、	、	、	、				
丙	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	、	、	、	、	、	、				
	、	、	、	、	、	、				



●第九類

●會計

●訓令第九號 明治二十四年五月二十二日 郡市役所 警察署 縣立學校

出納吏交替ノ場合ニ於テハ左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

一出納吏ヲ除ク 物品出納吏 交替ノトキ前任者ノ取扱ハ當日ヲ限リ後任者ハ翌日ヨリ其事務ヲ取扱フモノ

トス若シ出納吏解任ノ場合ニ於テ後任者未定或ハ事故アルトキハ一時代理者ヲ定メ取扱ハシムヘシ其代理者ハ翌日ヨリ事務取扱フモノトス

一前項ノ場合ニ於テハ即日所管命令者ハ前後出納吏又ハ代理者ノ取扱期日及其官氏名ヲ關係ノ縣稅出納所又ハ其出張所ニ通知スヘシ

一縣稅出納吏及雜收入出納吏交替ノトキ收入計算表ハ前任者取扱ニ係ル分ヲ打切リ日數五日以内

ニ差出シ後任者又ハ代理者ノ計算表ハ前任者取扱ニ係ル分ヲ前月迄ノ累計ニ合算スヘシ

一出納吏ノ諸帳簿ハ前任者取扱ニ係ル分ヲ打切リ通計ヲ付シ後任者ニ引繼クヘシ

●訓令第一百四號 明治二十四年五月二十九日 郡役所 警察署 縣立學校

明治二十四年度以後郵便切手ヲ使用シタルトキハ取扱主任者ニ於テ毎月左ノ書式ニ依リ之ヲ證明シ翌月五日限リ物品出納吏ニ差出サシムヘシ

物品出納吏ハ前項ノ證明ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ置キ物品會計規則第二十四條ノ證憑書類トシテ提出スヘシ

郵便稅(電信料)使用證明書

一何程

(前年度)(前月)ヨリ越高

一何程 (物品出納吏ニ於テ假渡簿へ記入セル各種類ノ合計高)

何月何日受取高

計何圓

一何程

何月中使用高

何錢切手

何枚

何錢切手

何枚

發送月日	稅額	量	目	種類	摘要	發送	先	發送者
何月何日	何錢	何	何	書留 別配 常便	何々ノ件照 會何々ノ令 達何々ノ件	何	何々	官姓名
何月何日	何錢	何	何	第何種	何々ノ件	何府縣何郡(市)何町(村)何	某	何々所



何月何日	何錢	何音信	至親急 常信	何々ノ件	何々	所 官姓名
何月何日	何錢	何音信	何々	何々	何府縣何郡(市)何町(村) 何某	何々所

一何程

殘 高

何錢切手 何枚  
何錢切手 何枚

年 月 日

主任官(職) 姓 名 印

物品出納吏  
官(職)姓名宛

訓令第二百二十二號 明治二十四年六月十九日 郡役所 警察署 縣立學校  
備品ニアラサル不用物品取扱方左ノ通相定ム

一石炭油入ノ明箱炭ノ明俵煎茶用ノ明茶入空罍類及他應等ヨリ送付ニ係ル物品ノ上包油紙越上箱類ハ主任ニ於テ調査シ價值ナキモノハ其時々焼却又ハ棄却シ價值アルト認ムルモノハ一个月分ツ、取纏ノ其品目員數等ヲ詳記シ其主務者ヨリ翌月五日迄ニ物品出納吏ニ送付スヘシ  
一新聞紙及反古ハ一ヶ月ツ、取纏メ新聞紙ハ其種類枚數ヲ反古ハ量目ヲ詳記シ翌月五日迄ニ物品出納吏ニ送付スヘシ

一印肉ノ不用ニ属スルトキハ其量目等ヲ詳記シ使用者ヨリ物品出納吏ニ送付スヘシ  
一物品出納吏ニ於テ前各項ノ物品ヲ受ケタルトキハ現品ヲ調査シ其送付書ニ物品出納命令者ノ檢印ヲ得テ書留簿ニ記入シ置キ物品會計規則第二十五條ニ據リ取扱フモノトス

訓令第三百三十號 明治二十四年七月十日

郡役所

郡役所經費支出證明方左ノ通相定ム

- 第一條 出納吏ハ仕拂並ノ證明トシテ提出スル計算表ニ第一號書式ノ現金收支書ヲ添付スヘシ
- 第二條 仕拂命令者ハ出納吏ヨリ提出スル計算表ニ第二號書式ノ保證書ヲ添付スヘシ
- 第三條 計算表ニ添付スル附憑書類ハ左項ニ依リ整理スヘシ
  - 一 憑憑書類ハ節毎ニ類編表紙ヲ付シ其表紙ニハ年度及支出ノ月、科目、金員ノ合計、證書ノ枚數ヲ掲記スヘシ
  - 一 各節ノ領收證書ニシテ其月中該證書未到達ニ係ルモノアルトキハ表紙ニ其金員ヲ朱字内書トシ概算拂ニ係ルモノハ其金員ヲ朱字外書トスヘシ
  - 一 ノ證書ニシテ甲乙科目種類ヲ混併記載セシモノアルトキハ甲科目ハ原書ヲ以テ編入シ乙科目ハ其寫ヲ以テ之ヲ編入シ甲乙トモ附憑金員ノ肩ニ他科目ニ編入アルコトヲ朱記シ置クヘシ
  - 一 遞送ニ係ル金員ニシテ其月中領收證書到達セサルモノアルトキハ第三號書式ニ依リ未到達證



書仕譯書ヲ調整差出スヘシ但該證書到達ノ上ハ其月分取纏メ別冊トシテ之ヲ差出スヘシ  
一概算拂ノ精算ニ至リタルトキハ其精算證書ニ當初概算支出ノ證書ヲ添付スヘシ

(第一號書式) 明治何年度何月分何々費現金收支書

一金 何程 (二个月目以後ノ例) 前月ヨリ繰越高

一金 何程 本月中受取高

計金 何程

一金 何程 (精算概算前渡トモ) 本月中仕拂高

差引

殘金 何程 翌月へ繰越高

右之通相違無之候也

出納吏

年月日

官氏 名印

富山縣知事宛

(第二號書式) 保證書

出納吏官氏名ノ證明ニ係ル明治何年度何月分何費(款)仕拂計算表ヲ出納簿并支出簿ニ對照シ及其

他ノ事項ヲ調査セシニ一モ相違ノ廉ナシ依テ其確實ヲ認ム  
右保證候也

仕拂命令者

年月日

何郡長氏 名印

富山縣知事宛

(第三號書式) 明治何年度何月中何々費仕拂證書未到達仕譯書

科 目	支出月日	遞送金員	遞送先住所氏名
何々(節)	何月何日	金 何程	何縣何郡(市)何町(村) 某
何々	何月何日	金 何程	全 何 某

通計金 何程  
右之通候也

出納吏

年月日

官氏 名印

富山縣知事宛

●訓令第三百三十一號 明治二十四年七月十日

郡役所

爲換方預ケ金ニ對スル抵當ノ公債證書保管ノ儀ハ物品會計規則ニ依リ物品出納吏ヲシテ保管セシ



ムヘシ

訓令第三百三十四號 明治二十四年七月十七日

郡役所

為換方抵當ノ公債證書及入札契約保證ノ為メ納付スル公債證書株券等物品會計規則ニ依リ物品出納吏ノ保管ニ屬スルモノハ保管物品出納簿ヲ設ケ整理スヘシ

但帳簿様式ハ別紙ノ通り相定ム

當 (或ハ何々保證)		拂		殘 高	
還付年月日	額面金高	枚數	高	高	高
何年何月何日			1,000,000		1,000,000
					1,500,000
	1,000,000	1			500,000
					600,000
					700,000
					800,000

備考

一受方額面金高ノ欄ニハ何々公債又ハ株券預券等一葉毎ニ記入スヘシ

一全還付年月日ノ欄ハ還付セシ年月日ヲ一葉毎ニ朱記入スヘシ

一拂方額面金高ノ欄ニハ還付セシ總金高ヲ合計記入スヘシ

何々々 抵				
年月日	摘要	種 目	記 番 號	受
				額面金高
何一	何 某 納	何公債證書	い 號 何 番	1,000,000
二	何 某 納	"	" 何 番	500,000
五	何々ニ付何某へ還付	何公債證書		
十	何 某 納	何銀行預券	何々何番	100,000
"	何 某 納	何々株券	何々何號	100,000
"	何 某 納	何々	何 號	100,000



保管物品出納簿

何々

訓令第六十號 明治二十四年四月四日

郡市役所 警察署  
警察分署 縣立學校  
町村役場

本縣地方稅仕拂ニ係ル金員請求書及領收證書式ハ二十四年度以後ニ屬スルモノヨリ左ノ通相定ム

(第一號)

俸給領收證

本人受取ノ日ヲ記入スヘシ茲ニ年月日ヲ記載スルモノ皆同シ  
明治何年何月何日

一金 何程

官(職) 姓 名 印

但何月分(何月何日何々官(職)拜命或ハ依願免職ニ付俸給何圓ノ日割何日分本類ノ通)(何月何日判任何級ヨリ何級ニ或ハ何圓給ヨリ何圓給ニ増俸ニ付何圓ノ日割何日分何圓ノ日割何日分計金本類之通

明治二十四年  
十二月二十五日  
訓令第百七  
十六號ヲ以テ  
更正

(第二號) (二名以上連署ノ例)

何月分俸給領收證 明治何年何月何日

一金 何程

内譯

金員	事	由	官(職) 姓 名
何程	任免等ニシテ俸給額ニ異動ヲ生シ日割計算ヲ要スル		官(職) 姓 名 印
何程	キハ第一號書式但書ニ依リ茲ニ其事由ヲ詳記スヘシ		官(職) 姓 名 印

(郡書記學校教員巡察看守諸庶等準テ此例ニ準スヘシ)

(第三號)

何月分給料請求書 明治何年何月何日

一金 何程

内譯

金員	現金領收ノ印	勤日數	日給額	事	由	職 姓 名
何程	何印	何日	何錢	○		給仕 何 某 印
何程	何印	何日	何錢		日給金何錢ノ處何月何日	給仕 何 某 印
何程	何印	何日	何錢		金何錢ニ増(減)額	



明治二十四年  
十二月二十五日  
訓令第百七  
十六號ヲ以テ  
第十四號書式  
ヲ除ク

何	程	印	何	日	何	錢	何月何日拜命(何月何日 依願解職)	給仕	何	某	印
<p>(日給雇、押丁、看守人、小使ノ類モ渾テ此例ニ進スヘシ)</p> <p>(第五號)</p> <p>何警察署(何警察署)何月中請求書 持區内巡回日當月旅費</p> <p>一金 何程</p> <p>內譯</p> <p>各自金員受取ノ上押捺スヘキモノニシテ名下ノ印ト全一ナルヲ要ス以下此ノ例ニ 據ルモノ皆全シ</p>											
金	員	現金領收ノ證印	月	額	等	級	職	姓	名		
何	程	印	何	何	等	等	巡查部長	何	某	印	
何	程	印	何	何	等	等	巡查何	何	某	印	
何	程	印	何	何	等	等	第何管區詰	全	何	某	印
何	程	印	何	何	等	等	第何管區詰	全	何	某	印
何	程	印	何	何	等	等	第何管區詰	全	何	某	印
何	程	印	何	何	等	等	第何管區詰	全	何	某	印
何	程	印	何	何	等	等	第何管區詰	全	何	某	印

何	程	印	何	日	何	錢	何月何日拜命(何月何日 依願解職)	給仕	何	某	印
<p>但元何管區詰ノ處何月何日何管區へ詰換赴任ニ付全日一日ヲ除キ月額前後全額ナルニヨリ何拾 何錢ノ日割何日分</p> <p>何程 印</p> <p>何 何 等 豫 全 備 何 何 某 印</p> <p>但何月何日巡査教習所ヨリ詰換赴任ノ上全何日ヨリ豫備勤務ニ從事セシニ付何拾何錢ノ日割何 日分</p> <p>何程 印</p> <p>何 何 等 分署詰 全 何 何 某 印</p> <p>但何月何日ヨリ何日迄歸省全何日ヨリ何日迄病氣欠勤ニ付何日ヲ扣除シ何拾何錢ノ日割何日分 (第六號)</p> <p>被服料請求書 明治何年何月何日</p> <p>一金 何程</p> <p>內譯</p> <p>現金領收ノ證印</p> <p>品目 箇數 單價 事 由 職 姓 名</p> <p>長靴 一足 何程 從給與ノ分何月何日 巡查 何 某 印</p> <p>短靴 一足 何程 滿期ニ付更ニ給與ノ分 巡查 何 某 印</p> <p>肌着 一着 何程 何月何日拜命ニ付給與ノ分 巡查 何 某 印</p> <p>スヘシ</p>											
金	員	現金領收ノ證印	品目	箇數	單價	事	由	職	姓	名	
何	程	印	長靴	一足	何程	從給與ノ分何月何日	巡查	何	某	印	
何	程	印	短靴	一足	何程	滿期ニ付更ニ給與ノ分	巡查	何	某	印	
何	程	印	肌着	一着	何程	何月何日拜命ニ付給與ノ分	巡查	何	某	印	
何	程	印	スヘシ								







何 程 印 何 度 何 錢 官 (職) 姓 名 印

(第十一號)

臨時賄料請求書

明治何年何月何日

一金 何程

內 譯

金 員	現金領收ノ證印	度 數	一度ノ給額	事 由	官 (職) 姓 名
何 程	印	何 度	何 錢	何々又ハ事務多忙ニ付 何月何日徹夜勤	官 (職) 姓 名 印
何 程	印	何 度	何 錢	右全斷	官 (職) 姓 名 印

(第十二號)

何月分夜發賄料(草鞋代)請求書

明治何年何月何日

一金 何程

內 譯

金 員	現金領收ノ證印	勤 日 數	賄度數(草鞋代)	一度ノ給額(一足ノ價)	職 姓 名
何 程	印	何 十 何 日	何 度 (何足)	何 程	職 何 某 印
何 程	印	何 日	何 度 (何足)	何 程	職 何 某 印

(第十三號)

領 収 證 市町村長ノ認印

一金 何程

但何郡(市)何町(村)大字何町(村)道路(堤防)補助費

前書ノ金員受取候也

何郡(市)何町(村)

年 月 日

収入役 何

某 印

(第十四號)

富山縣廳出納吏官姓名宛

郵便切手代仕拂證明書

一金 何程

內 譯

切 手 種 類	枚 數	金 員
何 拾 錢	何 枚	何 員
何 錢	何 枚	何 員
何 錢	何 枚	何 員



葉 書 何 枚 何 程

前記之通郵便(電信)用切手(何々御用トシテ何地へ出張中)購求候ニ付代金仕拂高相違無之此段證明候也

仕拂人

年月日

官(職)姓 名印

富山縣廳(何郡役所)出納吏官姓名宛

(第十五號)

郵便(電信)差立明細書

何地へ出張中買上高

一何程

内譯

月發日	稅額	音信數	種	類	發	信	先	發	信	者
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
電信ニ係ル例										
月發日	稅額	音信數	種	類	發	信	先	發	信	者
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名

何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名
何月何日	何錢	何音信	何	種	何	々	所	官(職)	姓	名

右之通相違無之候也

年月日

官(職)姓 名印

(第十六號)

雇人料請求書

一金何程

官(職)姓 名印

但何々御用トシテ何地へ出張中使用セシ雇人夫賃繰替支拂之分別紙證書何業之通

(金員受取ノ節ハ玆ニ左ノ如ク記入捺印スヘシ以下請求書ニ係ル分皆同シ)

前書之金員受取候也

年月日

官(職)姓 名印

富山縣廳(何郡役所)出納吏官姓名宛

(第十七號)

囚人賄料(草鞋代)請求書

一金何程

官(職)姓 名印



但囚人何某(外何人)護送途中晝中飯何賄代(草鞋何足代)綵換支拂之分別紙證書何棄之通  
(雇人料及囚人賄料等ノ書式ハ出張吏員ノ綵換拂ニ係ル例)

(第十八號)

領收證

一金何程

但何々御用トシテ何月何日(何月何日ヨリ何日マテ何日間)御雇上料一日金何程  
前書之金員受取候也

何府縣何郡(市)何町(村)大字何町(村)番地

年月日

何 某印

官(職)姓名宛 (綵換人宛)

(第十九號)

領收證

一金何程

但囚人晝飯(草鞋)何賄(何足)代一飯分(一足)何程  
(茲ニ記入スヘキ文例ハ第十八號ニ同シ)

(第十六號第十七號請求書ニ添付スヘキ正當受取人領收證ハ之レニ準スヘシ)

(第二十號)

領收證

一金何程

官(職)姓名印

但出火消防ニ尽力(何々犯人ヲ逮捕)(職務勉勵)セシニ付賞與トシテ御下賜之分  
(第二十一號) (二名以上連署之例)

領收證

一金何程

内譯

金	員	事	由	官(職)姓名
何	程	職務勉勵ニ付賞與		官(職)姓名印
何	程	何々ニ付賞與		官(職)姓名印

(第二十二號)

領收證

一金何程











旅費精算書

一金 何程

精算高

右ノ方へ

金 何程

假受高

内

金 何程

何月何日受取

金 何程

何月何日受取

(内譯書式ハ請求書ノ例ニ全シ)

右之通候也

年月日

官(職) 姓 名 印

富山縣廳(何郡役所)出納吏官姓名宛

(第二十八號)

何々會委員手當請求書

一金 何程

但何月何日ヨリ何月何日ニ至ル何日間何々會出場手當一日何程宛

(第二十九號)

雇醫給料請求書

一金 何程

此譯

是ヨリ以下住所ノ記入ナキ  
モノハ渾テ此例ニ準スヘシ  
何府縣郡市町(村)大字町(村)番地  
醫 何 某 印

月 日	雇 上 事 由	從事時間或ハ度数	金 員
何月何日	變死人(溺斃死人等)檢視ノ際立會 ノ爲メ御雇上ノ分	何時間以內	何程
何月何日	病囚何ノ某診察ノ爲メ御雇上ノ分	何時間以內	何程
何月何日	何々ニ付御雇上ノ分	一度或ハ一日	何程

(第三十號)

掃除人夫賃(帳簿綴職工料)請求書

一金 何程

何 某 印

但何月何日ヨリ何月何日ニ至ル何日間御雇上賃一日ニ付何程

(第三十一號)

人力車賃(駕籠賃)請求

一金 何程

(受賃人) 何 某 印











明治二十四年  
十二月二十五日  
訓令第百七  
十六號ヲ以テ  
改正ス

脚夫賃請求書		一金何程		内譯		何		某印	
月日	差	先立	區	分	里	程	一里ノ貸錢	金	目
何月何日	何地何所ヨリ何地何某屆	御用狀持脚夫	何	何	何	何	何	何	何
何月何日	何郡何町村ヨリ何地何所屆	何々々	何	何	何	何	何	何	何
何月何日	何地何所ヨリ何々署及何々地ヲ經テ何地何所何某方屆	御用狀持運ヒ	何	何	何	何	何	何	何
(第四十號) 借上料請求書		何		某印					
名	稱	員	數	一ヶ月(一日)借料	事	由	金	員	
家	屋	一棟(何坪)	何	程	何々用トシテ(何月中)何月何日ヨリ何日迄御借上ノ分	何	何	何	何
何	々	何	個	何	何	何	何	何	何
(借地料、留置人用蒲團借上等ノ類渾テ此例ニ準スヘシ)									

留置人賄料請求書		(第四十一號)		何		某印	
一金何程		内譯		何		某印	
但何月中留置人賄數何賄代一賄ニ付何錢何厘宛		(第四十二號)		醫		何	
微毒治療料(留置人藥餌料)請求書		醫		何		某印	
一金何程		内譯		娼妓(病囚)		何	
金何程		内		娼妓(病囚)		何	
品	目	數	量	單	個	金	員
水	藥	何	瓶	何	何	何	何
散	藥	何	包	何	何	何	何
煎	藥	何	服	何	何	何	何
全		何		某		分	



粉		藥	何	包	何	錢	何	程
水		藥	何	瓶	何	錢	何	程
內								
(第四十三號)								
刑事被告人(囚人)飯米代請求書								
一金 何程								
此譯								
名	稱	延人員	一人一日ノ食量	數	量	一升ノ價格	金	員
飯	米	何拾何人	四	合	何斗何升何合	何錢何厘	何	程
(第四十四號)								
刑事被告人(囚人)藥代請求書								
一金 何程								
此譯								
名	稱	延人員	一日一人給額	金	員	錢	何	程
藥	代	何十何人	何	錢	何	何	何	程

(右飯米代及菜代ハ警察署及分署ニ於テ取扱照監獄費ノ支辨ニ屬スルモノニ限ル)								
(第四十五號)								
貧困患者治療料請求書								
一金 何程								
內譯								
病	名	事	由	日	數	藥品數量	單	個
腸	室	扶	斯	何郡(市)何町(村)何某何月何日ヨリ何月何日マテ	何日	水藥何瓶	何	錢
赤	痢	茲ニ記入方前全斷		何日	水藥何瓶	何	錢	何
(第四十六號)								
排泄物運搬賃請求書								
一金 何程								
此譯								
病	名	事	由	燒	乘	度	數	一度ノ賃額
何	々	何某何月何日ヨリ何月何日ニ至ル何日間分		何	度	何	程	何
(第四十七號)								
第九類 會計								
二九一								



明治二十四年  
十二月二十五日  
訓令第百七  
十六號ヲ以テ  
本式ヲ追加ス

一金 何程		屠 獸 數		一頭手數料額		獸醫 何 某印	
內譯		何 頭		拾 五 錢		何 何	
種 別	屠 獸	數	量	個	金	員	員
牛	何	頭	拾	五	錢	何	何
馬	何	頭	拾	五	錢	何	何
豚	何	頭	拾	五	錢	何	何
(第四十八號)		何郡役所(何警察署)(何々) 請求書		何		某印	
一金 何程		內譯		何		某印	
名 稱	數	量	單	個	金	員	員
大 工	何	人	何	何	何	何	何
石 工	何	人	何	何	何	何	何
左 官	何	人	何	何	何	何	何

明治二十四年  
十二月二十五日  
訓令第百七  
十六號ヲ以テ  
本式ヲ追加ス

一金 何程		屠 獸 數		一頭手數料額		獸醫 何 某印	
內譯		何 頭		拾 五 錢		何 何	
種 別	屠 獸	數	量	個	金	員	員
牛	何	頭	拾	五	錢	何	何
馬	何	頭	拾	五	錢	何	何
豚	何	頭	拾	五	錢	何	何
(第四十九號)		何郡役所(何警察署)(何々) 請求書		何		某印	
一金 何程		內譯		何		某印	
手 傳	何	人	何	何	何	何	何
草 檣	何	本	何	何	何	何	何
杉	何	本	何	何	何	何	何
何々板	何	間	何	何	何	何	何
何々	何	束	何	何	何	何	何
釘	何	目	何	何	何	何	何
石	何	程	何	何	何	何	何
土	何	程	何	何	何	何	何
一建築又ハ修繕ノ箇所ハ一旅毎ニ小計ヲ附シ其但書ニ何々(建築)(修繕)ノ分ト記入スヘシ		(第四十九號)		何		何	
(月額旅費假受ノ例)		旅費假受請求書		何		何	
一金 何程		內譯		何		何	
御 用 柄		土木事業御用ニ付何地へ旅行		何		何	
二回以上ノ假受書ハ月日ノ下出立ヲ(ヨリ)トシ歸着ヲ(マテ)トス		官(職) 姓		名 印		名 印	







一假受金ニ對シ過不足ナキトキハ第二十七號書式ニ依リ其内證書式ハ前文例ニ同シ

●訓令第四百十四號 明治二十四年八月十四日 郡役所 警察署 縣立學校

本年四訓令第六十號地方稅仕拂ニ係ル金員請求書書式中第三十五號物品代請求書樣式下段ニ物品納付月日ノ欄ヲ増設候條納入ニ於テ物品納付ノ月日ヲ記入シ其物品ヲ領収シタル主任ノ吏員ハ其月日ニ檢印ヲ爲スヘシ

但請求書難取立モノハ其物品領収シタル主任ノ吏員ニ於テ朱書ヲ以テ月日ヲ記入檢印スヘシ

●訓令第四百二十二號 明治二十四年八月十四日 郡市役所 警察署 縣立學校

地方稅仕拂金送金順序左ノ通相定ム

地方稅仕拂金送金順序

第一條 本廳ニ於テ地方稅ノ仕拂金ハ管内限リ左ノ順序ニ依リ取扱フヘシ

第二條 縣稅出納所所在地外ニテ仕拂ヲ要スヘキモノハ送金手形若クハ現金ヲ以テ債權者ニ交付スルモノトス

第三條 送金手形ヲ以テ交付スルモノハ出納吏ノ請求ニ依リ縣稅出納所ニ於テ送金手形トシテ出納吏ニ差出シ出納吏ハ其債權者ヘ直ニ送付スルモノトス

第四條 通常ノ送金ハ出納吏ノ請求ニ依リ縣稅出納所ニ於テ現金ヲ以テ直ニ債權者ニ交付スルモ

ノトス

第五條 臨時至急ヲ要スルモノハ渾テ送金手形ヲ以テ送金スルモノトス

第六條 現金交付ニ係ルモノハ毎月一日八日十六日二十三日ノ四回ニ發送シ該日ヨリ五日間以内ニ交付スルモノトス

但十二月ニ限リ二十八日ノ一回ヲ増ス

第七條 縣稅出納所ニ於テ交付シタルモノハ領收證書ハ毎月二回 其月一日ヨリ十五日迄ノ分ハ其迄ノ分ハ翌月二日トス 該出納所ニ取續メ出納吏ニ差出スヘシ

但縣稅出納所ノ都合ニ依リ領收證書ハ定日以内ニ差出スコトヲ得

第八條 送金手数料ハ送金手形若クハ現金ヲ以テ送付スルモノ渾テ既定ノ金額ヲ以テ仕拂フモノトス

●達乙第四十二號 明治二十四年八月十四日

縣稅出納所

地方稅仕拂金送金順序左ノ通相定ム (以下訓令第四百二十二號ト同交ニ付略ス)

●達乙第六十四號 明治二十四年十二月二十六日

縣稅出納所

地方稅仕拂金送金順序ニ依リ縣稅出納所ニ於テ現金ヲ以テ債權者ニ直ニ交付スヘキ處右交付方ニ就テハ手数料等ノ名稱ヲ以テ債權者ヨリ金若干取受タル同屬々有之甚ク不都合ノ次第ニ付自今右



様ノ手数料等ハ一切取受サルノ契約ヲ爲シ契約保證金トシテ金拾圓納付スヘシ爾后万一右送金ニ對シ手数料等ノ名稱ヲ以テ取受タル事實發覺セハ其手数料等ハ支拂人ニ返附ヲ爲サシムルハ勿論違約トシテ保證金ハ當廳ニ於テ沒收スヘキ儀ト相心得依テ此際契約書及保證位ヲ差出スヘシ

●達乙第四十二號 明治廿四年八月十四日

縣稅出納所

地方稅仕拂金送金順序左ノ通り相定ム

地方稅仕拂金送金順序

第一條 本廳ニ於テ地方稅ノ仕拂金ハ管内限リ左ノ順序ニ依リ取扱フヘシ

第二條 縣稅出納所在地外ニテ仕拂ヲ要スヘキモノハ送金手形若クハ現金ヲ以テ債權者ニ交付スルモノトス

第三條 送金手形ヲ以テ交付スルモノハ出納吏ノ請求ニ依リ縣稅出納所ニ於テ送金手形トシテ出納吏ニ差出シ出納吏ハ其債權者ヘ直ニ送付スルモノトス

第四條 通常ノ送金ハ出納吏ノ請求ニ依リ縣稅出納所ニ於テ現金ヲ以テ直ニ債權者ニ交付スルモノトス

第五條 臨時至急ヲ要スルモノハ渾テ送金手形ヲ以テ送金スルモノトス

第六條 現金交付ニ掛ルモノハ毎月一日八日十六日二十三日ノ四回ニ發送シ該日ヨリ五日間以内

ニ交付スルモノトス

但シ十二月ニ限リ二十八日ノ一回ヲ増ス

第七條 縣稅出納所ニ於テ交付シタルモノハ領收證書ハ毎月二回 其月一日ヨリ十五日迄ノ分ハ其迄ノ分ハ翌月二日トス 該出納所ニ取懸メ出納吏ニ差出スヘシ

但縣稅出納所ノ都合ニ依リ領收證書ハ定日以内ニ差出スコトヲ得

第八條 送金手数料ハ送金手形若クハ現金ヲ以テ送付スルモノ渾テ既定ノ金額ヲ以テ仕拂フモノトス

●訓令第十二號 明治二十五年二月五日 郡市役所 警察署 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十五號地方會計規則中左ノ通改正明治二十五年度ヨリ施行ス

第十七條 知事ハ郡役所ノ經費ハ郡長ニ縣立學校ノ經費ハ校長ニ其仕拂命令ヲ委任ス

第十九條 本廳及郡役所縣立學校ニ出納吏ヲ置ク本廳ハ第四課長郡役所ハ會計ヲ掌ル首席郡書記 縣立學校ハ首席書記ヲ以テ之ニ充ツ

第四十八條

但郡役所及縣立學校ノ出納吏ハ所管命令者ニ之ヲ送付スヘシ

第五十二條



但郡役所及縣立學校ノ出納吏ハ所管命令者ヲ經由スヘシ

●訓令第四十三號 明治二十五年四月十五日 郡市役所 警察署 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十五號地方會計規則第六條第二項ノ次ヘ左ノ一項ヲ追加ス  
一 地方稅徵收費用金ハ本稅ノ屬スル年度

●訓令第五十號 明治二十五年五月二十日 郡市役所 警察署 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十五號地方會計規則中左ノ通改正ス

但第三十五條中五月十五日限リトアルハ二十四年度ニ限リ五月二十五日限リトス

第九條 (如故)

但中央出納吏取扱ニ係ルモノハ五月三十一日限リトス

第十條 各年度ノ歲入ニシテ翌年度五月十五日ヲ過キ收入スルモノアルトキハ之ヲ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ

第三十五條 出納吏ハ豫算ニ殘餘アルトキハ其科目金額ヲ詳記シ五月十五日限リ現金ヲ添へ中央出納吏ニ返納スヘシ

但本廳出納吏ノ外ハ所管命令者ヲ經由スヘシ

第三十六條 前條豫算殘額ノ返納アルトキハ中央出納吏ハ現金ヲ以テ縣稅出納所ニ納付シ戻入ノ

手續ヲ爲スヘシ

●達乙第十五號 明治二十五年五月二十日

縣稅出納所

明治二十四年四月達乙第十五號地方會計規則中左ノ通改正ス (以下前同文ニ付略之)

●訓令第六十號 明治二十五年六月十七日 郡市役所 警察署 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十五號地方會計規則第六十九條ニ左ノ但書ヲ追加ス

第六十九條

但豫定價格ニ達スルモ格外ノ抵價ニテ違約ノ虞アリト認ムル者ハ第六十五條第二項ノ制限ニ拘ハラス入札保證金トシテ納付シタル金額ヲ以テ契約保證金ニ充テシムヘシ此場合ニ於テ受負ノ契約ヲ結ハハルトキハ第六十七條ニ據リテ該入札保證金ヲ沒收スヘシ

●訓令第二十一號 明治二十五年三月十一日 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十五號地方會計規則第四十五條保管金額ニ對スル抵當ノ公債證書價格ハ左ノ通相定ム

抵當品價格

新公債證書	百圓ニ付	價格	八拾五圓
六分金祿公債證書	全	全	百圓



五分全	全	全	九拾七圓
利付全	全	全	百圓
起業公債證書	全	全	百圓
金札引換公債證書	全	全	百圓
中山道鐵道公債證書	全	全	百圓
海軍公債證書	全	全	百圓
整理公債證書	全	全	九十七圓

●訓令第百一號 明治二十五年十月二十一日 郡役所 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十五號地方會計規則第四十八條ニ依リ出納吏ノ提出スル仕拂計算表ハ左ノ書式ニ依リ調製スヘシ

但出納吏交替ニ付前任者ヨリ及年度未仕拂結了ノトキ提出スル計算表書式ハ従前ノ通

明治何年度何月分何費(款)仕拂計算表 (。印ハ朱書)

一金 何程 本月中精算高

此 譯

金 何程 何 費(項)

内 譯

金 何程 何 費(目)

内

金 何程 何 費(節)

。内 金 何程 此金高ニ該當 證書未到達高

。金 何程 スルモノアル 現金前渡ニ係ル精算併算高

。外ニ トキハ其節毎

。金 何程 ニ朱書記入ス 概算拂ニ係ル未精算高

。金 何程 ヘシ 現金前渡ニ係ル未精算高

右ノ通相違無之候也

出納吏

年月日

官(職) 姓名 印

富山縣知事宛

●訓令第百二十七號 明治二十四年七月三日 郡役所 警察署 縣立學校

地方特別會計規程左ノ通相定メ本年七月十五日ヨリ施行ス

但從來ノ取扱ニ係ル保證金ニシテ七月十五日ハ繰越タルモノハ總テ本規程ノ定ムル處ニ從ヒ取



扱フヘシ

地方特別會計規程

- 第一條 特別會計ノ取扱ニ屬スルモノハ左ノ種類トス
  - 一 地方税ノ事業ニ關スル入札及契約保證金
  - 一 地方税ノ經濟ニ屬スル財產物品ノ賣買貸借ニ關スル入札及契約保證金
  - 一 備荒儲蓄金ノ經濟ニ屬スル物品賣買ニ關スル入札及契約保證金
  - 一 風火震水等ノ罹災者恤救ニ係ル依託金
- 第二條 此規程ニ於テ収支命令者ト稱スルハ本廳ハ内務部長郡役所ハ郡長出納吏ト稱スルハ本廳ハ第四課長郡役所ハ會計主任ノ首席郡書記トス
- 第三條 第一條ニ掲クル金員ノ保管ヲ要スルトキハ主務者ニ於テ其金額納人名及事由ヲ収支用紙ニ詳記シ収支命令者ノ檢印ヲ得テ現金ヲ添ヘノハ之ヲ添付スヘシ 即日 出納吏ニ送付スヘシ
- 第四條 出納吏ニ於テ前條ノ現金ヲ領收シタルトキハ納人ニ領收證ヲ交付シ本廳ノ取扱ニ屬スルモノハ縣稅出納所ニ郡役所ノ取扱ニ屬スルモノハ郡役所爲換方ニ即日其現金ヲ拂込ムヘシ
- 第五條 縣稅出納所若クハ郡役所爲換方ニ於テ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ特別會計トシ地方税ニ準ジ其出納ヲ取扱フヘシ但預リ金ニ對スル領收ノ證トシ通帳ヲ設ケ預リ金額ヲ登記シ日々出

納吏ニ差出スヘシ拂戻シアルトキ亦同シ

第六條 保證金等ノ拂出ヲ要スルトキハ主務者ニ於テ其金額受取人名及事由ヲ収支用紙ニ詳記シ 收支命令者ノ檢印ヲ得テ出納吏ニ請求スヘシ

第七條 出納吏前條ノ請求ヲ受タルトキハ仕拂切符ヲ發シ其仕拂ヲ爲スヘシ 但出納吏ハ恤救金ノ外他ニ送金ヲ取扱ハ爲サ、ルモノトス

第八條 恤救ニ係ル義捐金ニシテ若シ他方ニ送金ヲ要スルトキハ其送金ニ對スル手数料ハ該義捐 金ノ内ヨリ支辨スヘキモノトス

第九條 出納吏ハ特別會計現金出納簿整理簿縣稅出納所及爲換方ニ於テハ特別會計出納簿ヲ設ケ 其出納ヲ整理スヘシ

第十條 保管金ニ對スル抵當品ハ縣稅出納所ハ地方税金ノ抵當金額ニ併算シ爲換方ハ該郡役所ノ 經收金額ニ併算シテ取置クモノトス

第十一條 保證金ニ充ツル爲メ納付スル公債證書株券若シハ銀行等ノ預リ券ハ物品會計規則ニ據 リ物品出納吏ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

第十二條 出納吏ハ毎年度ノ出納ニ對シ計算表ヲ調製シ翌年度四月三十日迄ニ之ヲ本廳ニ差出ス へシ



但郡役所々属出納吏ノ計算表ハ知事宛ニテ期日限り該郡長ニ差出スヘシ郡長ハ其事故ヲ調査シ記録及爲換方預リ金通帳ニ照合シ相違ナキトキハ其確實ヲ保證シテ五日以内ニ本廳ニ差出スヘシ

第十三條 出納吏交替ノトキハ地方會計規則ニ準シ取扱フヘシ

第十四條 監獄者縣立學校及本廳所在地ノ警察署ニ徴スル保證金ハ本廳ノ取扱ニ屬シ下新川郡役所并射水郡役所所在地ノ警察署ニ徴スル保證金ハ該郡役所ノ取扱ニ屬スルモノトス

第十五條 本廳及郡役所所在地外ノ警察署ニ徴スル保證金ハ其擔任者ニ於テ現金ヲ保管スルモノトス

第十六條 別段ノ成規アルモノヲ除クノ外郡長務職上ノ取扱ニ屬スル現金ハ認可ヲ得テ此規程ニ據リ取扱フコトヲ得

達乙第三十五號 明治二十四年七月三日

縣稅出納所

地方特別會計規程左ノ通相定メ本年七月十五日ヨリ施行ス

(以下前同文ニ付略之)

訓令 第二號 明治二十五年一月八日 富山警察署 婦負警察署 縣立學校

地方特別會計規程ニ依リ收支ヲ要スルモノハ自今第四課ニ合議ス可シ

但合議スル場合ニハ收入ニ係ルモノハ納人ノ納書又ハ契約書本書ノ提出ニ指支ル者ハ寫ヲ以テス其他ハ證據トナ

ルヘキ書類ヲ添付シ支出ニ係ルモノハ請求書ヲ添付ス可シ其請求書ニハ主任及警察署ハ署長縣立學校ハ校長ハ之ニ檢印シ其事故ト印影ヲ證明シ代理受ニ係ルモノハ委任狀ヲ添付ス可シ

訓令第二十八號 明治二十五年三月十八日 郡役所

明治二十四年三月訓令第四十七號物品會計規則第九條ニ依リ其役所備品定數定期別冊ノ通相定ム

(別冊)

凡例

- 一 凡ソ物品ニ定數アルモノヲ一類トシ其定數ナキモノヲ二類トス
- 一定數アル物品ト雖モ其役所ノ便宜ニ據リ之ヲ減スルコトヲ得
- 一定限内ノ物品ト雖モ費途ノ都合ニ據リ備置カサルモ妨ナシ
- 一人員ニ據リ定數アルモノ一時吏員増加ノ爲メ不足ヲ生スルトキハ豫備品ヲ以テ辨用シ欠員ノ爲メ定數ニ剩餘ヲ生スルトキハ一个年度間其儘保存シ尙使用ノ見込ナキモノハ之ヲ賣却スヘシ
- 一定數ノ標準トスル人員ハ毎年四月一日ノ現員トス
- 一 從來備付ノ物品中其品質形狀等本文ノ制限ニ合格セサルモノアルモ其儘之ヲ使用スルコトヲ得

一類

品目	定數	摘要
一類		











火	炭	火	十	灰	五	自	湯	鍋	盆	茶	全	茶	鐵
箸	取	消	能	篩	德	在	釜			碗		碗	瓶
五	四	一	二	二	二	一	一	二	二	現員一人二付一個	二十個	一個	一個
組	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
圍爐裏及炭取一個二付一組													宿直用

土	茶	霧	漏	油	カキ	行	風	弓	高	蠟	行	橋
瓶	袋	吹	斗	入	タ	燈	呂	張	張	燭	燈	
上新川 下新川 十五個 二十個	二	三	二	二	ギ	皿	敷	十	四	立	二	一
郡長席各課應接所共	麥茶用	石炭酸用	油及石炭酸用			個	枚	張	張	廿五個 廿三個	張	挺
夜廻等用												



鎌	鋏	雪 掻	水 漉	建 水	爐 縁	全 竿	非 常 糞	柄 杓	水 瓶 又ハ 桶	手 桶	金 盥	盥 臺	踏 臺
二	一	二	一	一	二	一	一	四	壹	二	一	二	一
挺	挺	挺	個	個	個	本	枚	本	個	荷	個	個	脚
草取用	草取及下水浚用		飲料水用					飲料水及手洗用	飲料水溜用	飲用水汲及雜布洗用	宿直用	布巾並足洗用	

衝 立	門 標	鉄 拭	全 拭	ホ ル ド	桐 油 紙	行 李	机	蚊 帳	枕	寝 具 座	蒲 團	毛 布	小 夜 具
一	一	一	二	二	三	三	一	二	三	三	三	一	六
脚	枚	挺	個	枚	枚	個	脚	張	個	枚	枚	枚	枚
	門掛札	ランプ芯切用	全	師範學校生徒選舉試験用	全覆	出張ノ御用物入	吏員宿直用	全	全	全	吏員小使宿直用	吏員宿直用	吏員小使宿直用



木葉	漆	一	本	外廻掃除用
塵取	二	個	内外全上	
泥コキ	一	個		
傘臺	二	個		
帽掛	二	個	郡長席高等官應接所用	
品目	二類	摘要		
書箱	書類及書籍入	(杉製 高サ二尺四寸 巾一尺八寸 深サ一尺二寸 但圖書入ハ此限ニアラス)		
戸棚	用度品入	(高サ二尺九寸 巾五尺八寸)		
長持	書類等人			
記簿	會計帳簿等			
鏡箱				
印箱				
圖書	現行法規及字典管内及郡内圖書			

塗札	受付時間及吏員姓名期限調モノ記載等用
雜印	封印ノ如キ各種ノ印
版木	系紙其他版木
ヲン	夜業用
ホヤ	全
長椅子	
投票刺	
鑑札	
水鉢	便所用
要鎖水桶	
釣瓶	
全繩	
井戸車	
箆等擔棒	



細引	箱	縣會議員選舉用
硯	全	
水	全	
袴	拭	

●訓令第二十六號 明治二十五年三月十八日 郡役所

郡役所經費及特別會計ノ現金出納簿ハ二十五年度以後一冊トシ之ヲ併記スヘシ

●訓令第二十七號 明治二十五年三月十八日 郡役所

其役所定數定限内ノ備品代價一廢五圓以上ノモノ又ハ同一ノ物品ヲ數個併セテ拾五圓以上ニ及  
モノヲ購入セントスルトキハ豫算ニ差支ナキコトヲ明記シ其時々稟請認可ヲ受クヘシ

●訓令第七十四號 明治二十五年七月廿二日 郡役所 上新川婦 郡役所在勤  
負ヲ除ク 収入官吏

郡役所ノ取扱ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ハ収入官吏ニ於テ擔任シ左ノ順序ニ依リ取扱フヘシ

歳入歳出外ニ屬スル現金取扱順序

第一條 明治二十四年<sup>二月</sup>告示第十號官有地及生産物賣渡貸渡手續第一條ノ入札保證金同第三條ノ

契約保證金<sup>保管ノ數月又ハ數年ニ涉リ保管</sup>規則ニ依リ取扱フモノヲ除ク並同年<sup>三月</sup>訓令第三十六號沒收物品公賣取扱規程第三

條ノ入札保證金公賣物品入札心得第七項ノ契約保證金ハ収入官吏ニ於テ保管スヘシ

第二條 収入官吏ハ前條ノ保管金ヲ明治二十二年<sup>十月</sup>大藏省令第十三號ニ依リ金庫ニ委託シ雜部金  
トシテ取扱フヘシ

但暫時シ保管ニテ金額ノ些少ナルモノハ収入官吏ニ於テ現金ニテ保管スルコトヲ得

第三條 落札人ノ確定若クハ土地物品ノ受渡ヲ了シ又ハ貸渡ノ期滿ニ依リ其地所若クハ其物品ヲ  
還納シ納人ヨリ保證金ノ下戻シヲ請求スルトキハ第一號書式ニ依ラシムヘシ

第四條 収入官吏ニ於テ前項ノ請求書ヲ受ケタルトキハ契約擔任者ノ檢印ヲ得テ該保證金ヲ納人  
ニ直ニ交付スヘシ

但納人ノ領收證ハ第二號書式ニ依ルヘシ

第五條 違約ニ依リ保證金沒收ノ處分ヲ爲シタルトキハ契約擔任者ヨリ即日其事項金額ヲ歳入調  
定官ニ報告スヘシ

但報告書ハ第三號書式ニ依ルヘシ

第六條 収入官吏ニ於テ歳入調定濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ保管ノ現金ヲ直ニ金庫ヘ納付スヘシ

雜部金ニ係ルモノハ該部ヲ支出シ即日歳入ニ納替ノ手續ヲ爲スヘシ

但収入官吏ハ雜部金支出ニ對シ第四號書式ニ依リ證明ヲ爲スヘシ



第七條 收入官吏ニ於テ雜部ノ取扱ニ係ル保管ノ現金出納ハ明治二十四年三月會計検査院第二號達ニ依リ證明スヘシ

(第一號書式) (用紙八寸紙又ハ八寸系紙)

請求書

郡市町村舊地又ハ寄留

一金 何程

何 某印

但(落札人確定)(拂下)(地所)(物品)(何月何日)(受取濟)(拜借地還納濟)ニ付(何々)保證金下戻之分

(第二號書式) (金員領収ノトキハ左ノ通記入捺印スヘシ)

右正ニ受取候也

右

年月日

何 某印

(此印ハ請求書ノ印ト  
同印ヲ用ユヘシ)

收入官吏

官 氏 名 宛

(第三號書式) (用紙八寸系紙)

保證金沒収報告

一金 何程

但何某何月何日納付ノ何々保證金違約ニ依リ本日沒収

右報告候也

契約擔任者

年月日

官 氏 名 印

歳入調定官

官 氏 名 宛

(第四號書式) (用紙八寸系紙)

證

一金 何程

但何某納付ノ何々保證金違約ニ依リ沒収ニ付雜部金ヨリ引出直ニ歳入ニ納付シタルモノニ付  
雜部金支出ニ對スル領収證無之

右證明候也



收入官吏

官 氏

名 印

郡 役 所

年 月 日

訓 第三〇 號 明治二十四年三月三十一日

其役所經費爲替方命令按左ノ通相定候條命令ノ上全文寫ヲ添へ届出ツヘシ

但二十三年度ニ屬スル分ハ従前ノ規定ニヨリ本文爲替ニ附帶シテ取扱ハシムヘシ

右訓令ス

命令書文按

某 所

某 銀 行

何 誰

右ハ當郡役所爲替方ヲ命シ現金ノ保管鑑定及其出納ヲ取扱ハシムルニヨリ左ノ各條ヲ遵守シ誠實ニ之ヲ勤ムヘシ

第一條 爲替方ハ富山縣何郡(市)何町(村)何番地ニ本店ヲ置キ現金ノ保管及其出納ハ本縣ニ於テ定メタル諸規則ニ據リ之ヲ取扱フヘシ

第二條 出納吏ノ仕拂金ハ當郡役所ノ發付スル甲乙號切符ニ仕拂金額受取人名等ヲ記載シ甲號ハ

之ヲ受取人ニ交付シ乙號ハ之ヲ仕拂按内トシテ爲替方ニ送付スルニヨリ受取人甲號切符ヲ以テ現金交換ヲ求ムルトキハ其印鑑金高等ヲ乙號切符ニ照合シ相違ナキトキハ現金ヲ交付シ其仕拂金額ハ一个月毎ニ之ヲ報告スヘシ

但甲乙號切符ハ渡濟ノ印ヲ捺シ甲號切符ハ月計報告ト共ニ之ヲ差出スヘシ

第三條 爲替方ハ保管金ノ収支アル日毎ニ前日ヨリノ越高當日ノ収支及其殘高ヲ記載シタル證券ヲ調製シ保管ノ證トシテ差出スヘシ

第四條 爲替方ニ於テ確實ナル取扱人ヲ選定シ其者ノ印鑑并金錢出納ニ用ユル印鑑ハ總テ當役所ニ差出シ置クヘシ

第五條 當役所ニ於テ収支スル金錢ノ取扱ヲ爲サシムル爲メ爲替方取扱人ノ内常ニ當役所内詰所ニ出頭セシムヘシ但至急ヲ要スル場合ニアリテハ臨時出頭取扱フヘシ

第六條 保管金及關係ノ諸帳簿ハ毎年四回當役所官吏ヲシテ之ヲ検査セシム

但都合ニ依リ四回ノ外臨時検査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第七條 改濟金錢ノ内若シ賸金或ハ不足金アルトキハ其賸金不足ハ爲替方ニ於テ辨償スヘシ

第八條 現金取扱人其他出納ニ關スル者ニ於テ保管金ヲ費消スルカ若クハ水火盜難等凡ソ保管金ニ對スル損害ハ總テ爲替方ニ於テ辨償スヘシ



第九條 保管金并各地遞送中ノ金高ハ常ニ金(何百圓)ヲ極度トシ其抵當トシテ同額ノ公債證書ニ  
明細書及記名公債證書ハ別ニ委任狀ヲ添ヘ當役所ニ差出シ置クヘシ其保管金額ニ増減アルトキ  
ハ抵當品モ亦隨テ之ヲ増減スヘシ

第十條 保管金ハ融通運用スルコトヲ許サス

第十一條 第七條第八條ノ辨償ヲ怠リ又ハ仕拂金ノ仕拂ヲ爲サス或ハ保管金ノ返納ヲ命シタル場  
合ニ於テ其返納ヲ怠ルトキハ直ニ抵當品ヲ公賣シ其代金ヲ以テ辨償ニ充テ過金アルトキハ之ヲ  
下付シ不足スルトキハ別ニ辨償セシムヘシ

第十二條 金錢受拂及保管ノ料トシテ一ノ年金何程ヲ九月三月ノ兩度ニ下付スヘキニ依リ當郡役  
所ニ出頭スル取扱人ノ給料等ハ別段給與セサルヘシ

第十三條 各地ヘ爲替ヲ命シタルトキハ特ニ期限ヲ指定シタルモノ、外送金手形到達後二日ノ翌  
日ヨリ以內ニ於テ拂渡サシムヘシ其手數料ハ期限ノ有無ヲ問ハズ一ト口金百圓未滿ハ遠近ニ拘  
ハラズ金壹錢百圓以上ハ百圓ニ付十里毎ニ金貳錢五厘十厘以上ノ端 十里未滿一厘以上ハ金壹錢  
五厘トシ毎月取纏メ請求スヘシ

第十四條 此命令ハ明治何年四月一日ヨリ明治何年三月三十一日(一年度限ノ)マテトシ滿期ニ到  
レハ保管金ノ決算ヲ爲シ其殘金ハ悉皆上納スヘシ

但期限中ト雖モ當役所ノ都合ニヨリ何時ニテモ此命令ヲ解キ保管金ノ決算ヲ爲サシムルコト  
ルヘシ

年月日

郡長名

●訓 第一七號 明治二十五年三月三日

尋常師範學校長

明治二十五年度ヨリ施行スヘキ其校經費爲替方ノ命令案左ノ通相定メ候條命令ノ上全文寫ヲ添ヘ  
届出ツヘシ

右訓令ス

命令書文案 (「當郡役所」ヲ「當校」「當役所官吏」ヲ「當校ノ職員」「郡長名」ヲ「校長名」)  
トシ以下訓第三〇號ト同文ニ付略之

第十二條 金錢受拂及保管ノ料トシテ一ノ月金貳圓ヲ下付スヘキニ依リ當校ニ出頭スル取扱人ノ  
給料等ハ別段給與セサルヘシ

(以下訓第三〇號ト同文ニ付略之)

●訓 第三六號 明治二十四年四月十四日

尋常師範學校

地方税ノ經濟ニ屬スル尋常師範學校附屬小學校ノ收支出納ハ特別會計ノ取扱トシテ渾テ地方會計  
規則ニ準據シ取扱マヘシ

右訓令ス



訓令第四十八號 明治二十五年五月六日

縣立學校

其校經費支出證明方左ノ通相定ム

第一條 出納吏ハ仕拂金ノ證明トシテ提出スル計算表ニ第一號書式ノ現金收支書ヲ添付スヘシ

第二條 仕拂命令者ハ出納吏ヨリ提出スル計算表ニ第二號書式ノ保證書ヲ添付スヘシ

第三條 計算表ニ添付スル證書類ハ左項ニ依リ整理スヘシ

一 證書類ハ節毎ニ類編表紙ヲ付シ其表紙ニハ年度及支出ノ月、科目、金員ノ合計、證書ノ枚數ヲ掲記スヘシ

一 各節ノ領收證書ニシテ其月中該證書未到達ニ係ルモノアルトキハ表紙ニ其金員ヲ朱字内書トシ概算拂ニ係ルモノハ其金員ヲ朱字外書トスヘシ

一 一ノ證書ニシテ甲乙科目種類ヲ混併記載セシモノアルトキハ甲科目ハ原書ヲ以テ編入シ乙科目ハ其寫ヲ以テ之ヲ編入シ甲乙トモ證書金員ノ肩ニ他科目ニ編入アルコトヲ朱記シ置クヘシ

一 遞送ニ係ル金員ニシテ其月中領收證書到達セサルモノアルトキハ第三號書式ニ依リ未到達證書仕譯書ヲ調整差出スヘシ但該證書到達ノ上ハ其月分取摺メ別冊トシテ之ヲ差出スヘシ

一 概算拂ノ精算ニ至リタルトキハ其精算證書ニ當初概算支出ノ證書ヲ添付スヘシ

(第一號書式) 明治何年度何月分何々費現金收支書

一金 何程 (二个月目以後ノ例)

前月ヨリ繰越高

一金 何程

本月中受取高

計金 何程

一金 何程 (精算概算前渡トモ)

本月中仕拂高

差引

殘金 何程

翌月へ繰越高

右ノ通相違無之候也

年月日

出納吏職 氏

名 印

富山縣知事宛

(第二號書式) 保證書

出納吏職氏名ノ證明ニ係ル明治何年度何月分何費(款)仕拂計算表ヲ出納簿并支出簿ニ對照シ及ヒ其他ノ事項ヲ調査セシニ一モ相違ノ廉ナシ依テ其實實ヲ認ム  
右保證候也

年月日

仕拂命令者何校長 氏

名 印

富山縣知事宛



(第三號書式) 明治何年度何月中何々費仕拂證書未到達仕譯書

科目	支出月日	遞送金員	遞送先住所氏名
何々(節)	何月何日	金何程	何縣何郡(市)何町(村)
何々	何月何日	金何程	何
通計金何程			某

右之通候也

年月日

富山縣知事宛

出納定職 氏

名印

●訓 第四二號 明治二十四年四月十七日

警察署

本年三訓令第五十七號ヲ以テ物品購入ノ備警察署長ニ委任候處巡査ノ被服(夏服冬服ノ裁縫)並帶具中劍日章ハ其限外ト心得ヘシ

右訓令ス

●訓 第六一號 明治二十四年六月十日

警察署 警察分署

明治二十四年三會計檢査院達第二號ヲ以テ歳入歳出外現金出納證明規程被相定候ニ付テハ其取扱方左ノ通り相心得ヘシ

右訓令ス

- 一 警察署在勤收入官吏ハ歳入歳出外現金出納證明規程第二條ニ依リ現金受入ニ對シテ所轄警察署長ノ決議書ヲ要シ仕拂ノ際正當受取人ノ領收證書ヲ徴收スヘシ
  - 二 警察署在勤收入官吏ハ歳入歳出外現金出納證明規程第四條ニ依リ同第一二三條ノ出納計算書并請憑書類ニ同第五條第二項ノ保證書ヲ添ヘ翌年度五月十五日限ニ本廳ニ進達スヘシ
  - 三 警察署長ハ歳入歳出外現金出納證明規程第五條第二項ニ依リ本年一月訓令第十一號ニ準ヒ保證書ヲ調製スヘシ
  - 四 警察署在勤收入官吏ニ於テ歳入歳出外現金出納證明規程第六條ニ依リ返付ヲ要スル書類アルトキハ本文第二項ノ書類進達ノ際會計檢査院ヘノ請求書ヲ添付スヘシ
- 訓令第八十一號 明治二十四年四月十七日 警察署 警察分署
- 賊捨置金ノ内後日證據トナルヘキモノニ限り物品ノ取扱トシテ本廳物品會計官吏ニ於テ保管係條自今該金ハ其時々物品會計官吏ニ送付スヘシ其取扱方ハ左ノ手續ニ據ル
- 一 賊捨置金物品會計官吏ニ送付ノトキハ其送付書ニ金員種類員數及捨置アル場所年月日届主ヲ詳記スヘシ
  - 一 前項ノ金主判明シ返還ヲ要スルトキ又ハ金主判明セスシテ元届出主ヘ返付ヲ要スルトキ若クハ



歳入トナルヘキモノハ元取扱ニ係ル警察署長又ハ分署長ヨリ其事由ヲ詳記シ物品會計官吏へ報告スヘシ

一前項還付ヲ要スルモノハ本人ヲシテ直ニ物品會計官吏ヨリ受取ノ手續ヲ爲サシムヘシ但便宜上所轄警察署長又ハ分署長ヲ經由シテ本人ニ還付爲サシムルコトアルヘシ

●訓令 第一百十號 明治二十五年十一月二十五日 警察署 警察分署

遺失物賊捨置品漂流物ノ保管物品出納順序左ノ通相定メ本年十二月ヨリ施行ス

遺失物賊捨置品漂流物出納順序

一遺失物賊捨置品漂流物ノ保管物品ハ物品會計規則ニ依リ本廳物品會計官吏ノ監督ニ属スルモノトス

一各警察署警察分署ニ於テ前項物品ノ取扱主任ヲ定メ該物品ノ出納及保管ノ責ニ任セシムヘシ

一物品取扱主任ヲ定メタルトキ若クハ變更シタルトキハ其都度本廳物品會計官吏ニ報告スヘシ

一物品取扱主任ハ別紙第一號様式ノ物品出納簿ヲ備ヘ遺失物賊捨置品漂流物ノ各口坐ヲ設ケ其物品ヲ衣類雜品ノ二種ニ區別(漂流物等ノ物品ニシテ異種ノモノ)シ受拂ノ都度員數及見積價格ヲ登記スヘシ但價格ノ不分明ナルモノハ價格ヲ付セサルモ妨ナシト雖モ此場合ニハ價格不分明ナル旨ヲ記載スヘシ

一物品取扱主任ハ別紙第二號様式ニ依リ一个月毎ニ其出納シタル物品ノ報告書ヲ製シ翌月五日迄

ニ本廳物品會計官吏へ報告スヘシ但取扱主任變更ノ場合ハ其月中取扱タル分ヲ打切五日以内ニ

報告スヘシ

一各警察署長警察分署長ハ物品取扱主任ノ出納ヲ調査シ出納簿ニ照合相違ナキトキハ第三號様式

ノ證明書ヲ製シ翌月五日迄ニ差出スヘシ

(第一號様式)

何々ノ部

收支月日	品目	受高	全上價格	拂出	全上價格	事由	差引殘品	全上價格
十二月一日	何品	何個	何程	〇印ハ取扱主任ノ檢印以下做之		(繰越受ノ分) 何月何日拂濟		
全日	何品	何個	何程			拂濟トナリタルトキ		
全日	何品	何個	不明價格					
十二月十日	何品			何個	何程			
全日	何品			何個	何程			
全日	何品			何個	何程			
全日	何品			何個	何程			
月計		何個	何程	何個	何程			
一月四日	何品			何個	何程			



全日何品何個何程

一月計ノ員數金員ハ其月ノ報告書ト符合スルモノトス

一出納簿ハ年度毎ニ調製シ前年度ノ殘品ヲ繰越受高トナスモノトス但シ本年度ニ限り十一月末日ノ現品ハ十二月一日ノ受高トナスヘシ

(第二號樣式)

明治何年何月中遺失物(賊捨置品)(漂流物)出納報告書

品目	前月ヨリ	全上價格	本月中受高	全上價格	本月拂高	全上價格	差引翌月	全上價格
	越高					へ越高		
衣類								
雜品								
何々								

右及報告候也

取扱主任

年月日

官姓名印

物品會計官吏宛

一遺失物賊捨置品漂流物ハ各別トナシ報告書ヲ調製スルモノトス

一官沒品トナリタルトキハ其月ノ拂高トナシ更ニ官沒品ノ取扱トナスモノトス

(第二號樣式)

證明書

品目	前月ヨリ越高	本月中受高	本月中拂高	翌月へ越高
衣類				
雜品				
何々				

右明治何年何月中遺失物(賊捨置品)(漂流物)出納高前記ノ通相違無之候也

年月日

官姓名印

訓令第百二十九號

明治二十五年十二月十六日

郡役所

警察署

警察分署

保管金トシテ大藏省預金局へ寄託スルモノ、内漂流物賣却代ノ儀ハ同規則第三十一條第一項第二項ニヨリ見積代價ノ三分ノ一又ハ公賣セシ代價ヲ折半シ一半ヲ取扱主ニ交付セントスルモ取扱主



所在不明ニテ交付スル能ハサル場合ニ於テ其現金ヲ保管金トシ寄託スルトキハ保管金送附書へ保管金ノ事由ヲ取揚主所在不明ニ付未渡金ト記載シ(第三十二條モ此ニ準ス)且同規則第三十八條ニ據リ公賣セシ代價ヲ寄託ノ後其幾分ヲ交付スヘキ期節ニ至リ若シ取揚主所在不明ナルトキハ一旦其金員ヲ拂戻ノ上更ニ前同様ノ事由ニテ寄託可致又人民拾得金ニシテ一年內主ナキトキハ得者ニ給セントスルモ得者所在不明ニテ交付スル能ハサルトキハ一旦其金員ヲ拂戻ノ上受取人所在不明ニ付未渡金トシ更ニ寄託致スヘシ

訓令第三百三十二號 明治二十四年七月十日

間税分署 保管物會計官吏

大藏省訓令第五十六號ヲ以テ保管物取扱規程定メラレ候ニ付テハ左ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

但明治二十四年訓令第十五號ハ自今廢止候條從來内國稅徵收費所屬物品會計官吏ノ保管セシモノハ此際引受ヲ爲ス儀ト心得ヘシ

保管物取扱手續

- 第一條 保管物會計官吏ノ保管スヘキ物件左ノ如シ
  - 一 有利公債證書
  - 二 大藏省證券
  - 三 日本銀行株券

四 正金銀行株券

五 國立銀行株券

六 政府ノ保護ヲ受クル會社ノ株券債券

七 府縣郡市町村ノ公債證券

右 酒造營業人ニ係ル保證物件

八 公債證券

九 國立銀行預金證書

十 政府又ハ國立銀行ニ於テ利益ヲ保護スル會社ノ株券

右 煙草製造人證約ニ係ル抵當物件

第二條 間税分署長ハ抵當物又ハ保證物ニ關スル保證書又ハ證約狀ヲ受領シタルトキ若クハ還付又ハ引替等ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ出納命令ヲ發スヘシ  
但保管物ノ還付ハ廢業届ヲ出シタルトキ引替ハ其替物件ノ受納ヲ認メタル後支出ノ命令ヲナスヘシ

第三條 出納命令書ニハ其出納スヘキ年月日及受出又ハ支出ノ文字ヲ記入認印スヘシ  
但抵當物又ハ保證物目錄ヲ營業人ヨリ差出サシメ餘白ニ記載認印スルモ妨ナシ



明治二十四年  
八月二十一日  
訓令第百四十四  
號ヲ以テ本  
條ヲ追加ス

第四條 保管物會計官吏前條ノ命令ヲ受ケタルトキハ其物件ノ種類員數等ヲ調査シ保管物出納簿ニ記入シ現品ノ出納ヲナスヘシ

第五條 保管物出納簿ハ別紙様式ニ依リ調製シ物件出納ノ都度間稅分署長ノ認印ヲ受クヘシ

第六條 保管物會計官吏ノ證明スヘキ保管物出納計算書ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

明治何年度保管物出納計算書面之  
通相違無之候也

明治何年月日

保管物會計官吏官氏名印

會計検査院長宛

備考

三二一備考  
計算書ヲ受授スルモノハ各自該表紙ニ年月日ヲ記載スヘシ  
用紙ハ總テ堅牢ナルモノヲ用ユヘシ  
保管物會計官吏交替其他事故ニヨリ一年度ヲ通セサルモノ  
アルハ何年度トアルヲ何年月日ヨリ何年月日マテトスヘシ

品 目	受 之 部			拂 之 部			残 高
	越高 枚	受入 枚	計 枚	拂渡 枚	何々 枚	計 枚	
何公債證書							
千 圓							
五百圓							
三百圓							
貳百圓							
百圓							
何々							
何百圓							
何拾圓							